

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005001	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2D1・2D2) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2D1・2D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 2時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に付ける。暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し、表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。		
授業到達目標/Goal	英語のフレーズの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、英文を容易に覚えられるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して発音する。声に出すことで覚えた英語のフレーズを使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピートを行うことで、スキルの定着を図る。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英語のフレーズの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、英文を容易に覚えられるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して発音する。声に出すことで覚えた英語のフレーズを使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピートを行うことで、スキルの定着を図る。		
授業内容/Class outline/Con	英米の歌にみられる英語表現を中心として、重要な英文について、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチを進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、定着を図る。さらに、ダイアローグの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。英米の歌とその背景について解説する。歌を通して、英会話とコミュニケーションに対する意欲をさらに持てるように指導していく。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、CDを聴き、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード/Key word	英米の歌 / 文法と発音の強化 / 英語表現の容易な定着 / コミュニケーションのための文化の理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『英米人・日本人のこころの歌』(CD付き)(小笠原真司 / ウィリアム・コリンズ: 英光社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、課外学習のe-learning 40%(3 Step, Power Words)、小テスト 10%を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をしてCDを聴いてから臨んでください。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。CDを聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかんでおきましょう。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月10日	導入・授業内容の説明
第2回 4月17日	UNIT 4 Puff ( The Magic Dragon )
第3回 4月24日	UNIT 5 Unchained Melody
第4回 5月 1日	UNIT 6 Over the Rainbow
第5回 5月 8日	UNIT 8 Tennessee Waltz
第6回 5月15日	UNIT 10 Dreaming of Home and Mother 【e-learning 小テスト 第1回目】
第7回 5月22日	UNIT 11 Long, Long Ago
第8回 5月29日	UNIT 12 Grandfather's Clock
第9回 6月 5日	UNIT 13 The Last Rose of Summer
第10回 6月12日	UNIT 15・16 Mollie Darling / I've Been Working on the Railroad
第11回 6月19日	UNIT 17・18 Foster's Songs ( Old Black Joe / Old Folks at Home )
第12回 6月26日	UNIT 14 Home on the Range 【e-learning 小テスト 第2回目】
第13回 7月 3日	UNIT 18・19 ( ・20 ) Foster's Songs ( Old Folks at Home / My Old Kentucky Home / Beautiful Dreamer ) ( UNIT 3 Amazing Grace )
第14回 7月10日	UNIT 25・26 Twin Songs ( Londonderry Air / Danny Boy )
第15回 7月24日	UNIT 26 ( ・27 ) Danny Boy ( / Aloha Oe )
第16回 8月 7日	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005002	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E1) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	L6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、TOEIC/TOEFL/IEALTS形式の問題をテストゼミ形式で行い、その後、解答・解説を行う。後半では、テキストを用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円(税別)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-learning小テスト(40%), 予習チェック(20%), 定期試験(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, テキストUnit3		
第3回	Listening 2, テキストUnit5		
第4回	Listening 3, テキストUnit8		
第5回	Listening 4, テキストUnit11		
第6回	e-learning小テスト(1)(約30分程度), テキストUnit12		
第7回	Listening 5, テキストUnit15		
第8回	DVD教材(1), Dictation		
第9回	DVD教材(2), Dictation		
第10回	Listening 6, テキストUnit2		
第11回	Listening 9, テキストUnit4		

第12回	e-learning小テスト(2), テキストUnit6
第13回	Listening 10, テキストUnit7
第14回	Listening 11, テキストUnit8
第15回	まとめ、テキストUnit12
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005003	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E2) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	経済学部 (2 E 2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hijimasako yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります。		
授業到達目標/Goal	英語の音の基本を学び、シャドウイング演習を行い、スムーズな英語のコミュニケーションが行える力をつけます。また、自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。ペアワークとグループワークをしますので、欠席しないようにしてください。インターネットを使って活動を行い、テキストの音読やパートナーとの読み合わせを行います。		
授業内容/Class outline/Con	<p>テキストとワークブックを使用して、リーディング、スピーキングの練習をします。インターネットの動画を利用して、モチベーションを高めます。大学のe-learning 教材を活用し、基礎力を養成します。</p> <p>授業内容-1回 オリエンテーション、教科書Unit 1、e-learning          授業内容-2回 教科書 Unit 2、Workbook 1、e-learning          授業内容-3回 教科書 Unit 3、Workbook 2、e-learning          授業内容-4回 教科書 Unit 4、Workbook 3、e-learning          授業内容-5回 教科書 Unit 5、Workbook 4、e-learning          授業内容-6回 教科書 Unit 6、Workbook 5、e-learning、e-learning小テスト1回目          授業内容-7回 教科書 Unit 7、Workbook 6、e-learning          授業内容-8回 教科書 Unit 8、Workbook 6、e-learning          授業内容-9回 教科書 Unit 9、Workbook 7、e-learning          授業内容-10回 教科書 Unit 10、Workbook 7、e-learning          授業内容-11回 教科書 Unit 11、Workbook 8、e-learning          授業内容-12回 教科書 Unit 12、Workbook 8、e-learning、e-learning小テスト2回目          授業内容-13回 教科書 Unit 13、Workbook 9、e-learning          授業内容-14回 教科書 Unit 14、Workbook 9、e-learning          授業内容-15回 教科書 Unit 15、Workbook 10、e-learning          授業内容-16回 期末試験</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning を行う ワークブックのスピーチを完成させる		
キーワード/Key word	リピーティング、シャドウイング、音読		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	音の基本とシャドウイング演習、開文社、Openvoice Workbook Intermediate, Kaigai Connection		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、e-learning 40% (3step Call System, Power Words), 授業中の発表10%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先          (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948          (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	シャイネスを打ち破り、元気に英語の勉強をしましょう

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005004	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E3) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	akinatsuhana gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	akinatsuhana@gmail.com		
担当教員オフィスアワー / Office hours	非常勤講師控室、金 2 限前後 3 0 分		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	将来、仕事で役に立つような実践的な英語力を身につけるため、ビジネス入門テキストを用いて、外国人と接する際に遭遇しそうなさまざまな場面での会話を練習していきます。ペアワーク、グループワークを中心にコミュニケーション力を養成する授業です。		
授業到達目標 / Goal	シンプルな英語表現によって簡潔に案内、指示、提案、電話応答やものごとの順序の説明ができるようになる。 クラスの中で、英語によるロールプレイや発表が臆せずに行える。 クラスのパートナーとの英語によるコミュニケーションを楽しむことができる。 教科書のユニットの語彙・表現を身につけ、発表に役立てることができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	ペアやグループによる会話練習を通して、さまざまな表現を学習していきます。テキストを使いながら、ロールプレイをたくさんし、英語で話すことに慣れていきます。各ユニットの語彙・表現の内容確認小テストを次の授業の冒頭で行います。ロールプレイはグループ、クラス内で発表しあいます。また、授業と並行してグループワーク・発表に取り組みます。		
授業内容 / Class outline / Con	第1回から第8回まではテキストを用いてペア・ワーク中心に授業を進めていきます。第9回から第15回はグループワークを中心に取り組みます。第16回は定期試験です。第6回目(11/10)と第12回目(12/22)にe-learningの小テストがあります。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業中のペアによる会話練習を充実させるために、教科書の各ユニットのリスニング練習問題は、授業の事前準備として取り組んでください。テキストの音声は必ず各自ダウンロードし、自宅学習が可能な環境をつくっておいてください。臆せずに話せるようになるまでダイアログの練習をして下さい。毎回の授業の中で会話のロールプレイを発表しあいます。授業で学習した語彙・表現は次の授業の冒頭で確認テストします。事前準備、復習を欠かさずに行ってください。また、グループワークの課題はメンバーに迷惑がかからぬように期限を守って下さい。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	"Get Ready for Business" Preparing for work Student Book 1 出版社: MACMILLAN		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	e-learning(3step & Power Words)小テスト2回 - 40%、定期試験 - 20%、授業への取り組み - 10%、発表 - 20%、小テスト - 10%		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	自宅学習から授業中のペアワーク・グループワークまでを一つの流れと捉え、真摯に積極的に取り組んでください。話すことが楽しくなり、苦手意識が薄れたり、自信がつくような授業にしていきたいと思っています。参加型の楽しい授業にしましょう。		

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005005	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E4) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2E4		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095 - 846 - 0084 長崎純心大学		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日本でも親しまれている英米の物語をCDで聴きながら内容を理解しリスニング力を付ける。正確な発音と英文のリズムを体得する。またテキストの内容に関連した身近で社会的な問題に対して英語で答えたり話し合うことで、英語の表現力を強化する。		
授業到達目標 / Goal	CDに収められている生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、内容をおおまかに把握できるようにする。日本語とは異なる英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
授業方法 (学習指導法) / Method	最初にスクリプト中の重要単語の意味、発音のチェックを行う。日本語で内容を把握した後、CDを聴きながらディクテーションを行いスクリプトを完成させる。内容や発音についての問いに答える。大事な構文や表現の優れた文章は暗唱する。最後に内容に関連した様々なテーマについて、ペアやグループの中で、英語で答えたり、話し合ったりする。		
授業内容 / Class outline / Con	毎回リスニングを中心に進める。スクリプトを完成させ内容を把握する。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回リスニングと練習問題の予習をしておく。		
キーワード / Key word	リスニング、ディクテーション、語彙		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Story Box—Gifts from Great Tellers (センゲージ ラーニング)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業への積極的な取り組み状況 (発表) 10%、 定期試験 50%、 e-learning小テスト40% (3 Step CALL, Power Words) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	毎回リスニング、和訳、問題演習の予習をして授業に臨むこと		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	内容それ自体がおもしろく魅力ある物語をテキストとして取り上げています。物語を読む楽しさが、きっと英語の学習への意欲を高めてくれるでしょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション (授業の進め方について) Unit 1: Happy Prince Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		
第2回	Unit 2: Happy Prince Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		
第3回	Unit 3: Black Beauty Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		
第4回	Unit 4: Black Beauty Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク		

第5回	Unit 5: Twelfth Night Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第6回	e-learning 小テスト1回目 Unit 6: Twelfth Night Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第7回	Unit 7: Twelfth Night Part 3 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第8回	unit 8: The Three Musketeers Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第9回	unit 9: The Three Musketeers Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第10回	unit 10: The Three Musketeers Part 3 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第11回	e-learning 小テスト2回目 Unit 11: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 1 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第12回	Unit 12: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 2 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第13回	Unit 13: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 3 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第14回	Unit 14: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 4 語彙チェック、リスニング、リーディング、問題演習、ペアワーク
第15回	授業の総括と問題演習、ペアワーク、グループワーク
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005006	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E5) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo_hotmail.co.jp のメールで受け付けます。(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜 12:50 ~ 14:20		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は英語を知識として終わらせるのではなく、活用できるスキルとして身につけていく授業です。各課のテーマに関連するKey word, key phraseを学習し、実際にそれらを活用した会話表現やプレゼンテーションをしていきます。		
授業到達目標/Goal	1. 学んだテーマについて、意義を理解することができる。 2. テーマについて具体例をあげて自身の意見を伝えることができる。 3. テーマについて説明することができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	この授業は座学で基盤的な知識を学び、実践でその知識を活用していきます。座学部分ではテーマに合わせてKey word, key phraseを学び、実践ではグループワーク、ライティングを通して、自身の考えを述べてもらいますので主体的な参加を求めます。		
授業内容/Class outline/Con	全回、前半では、あるテーマに基づいた英文を読み、関連するKey word, key phrase, の学習をします。後半では、前半で学習したものを実践するため、グループワーク、プレゼンテーションを行い、self-expressionしてもらいます。第16回目は定期試験を実施します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回、テーマに沿って自身の意見を述べてもらいますので、予習の段階でテーマについて事前に調べておくこと。また、毎回、発表の場を設けますので、自身の意見を述べる表現方法の復習をしっかりとっておいてください。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Speaking of Intercultural Communication (南雲堂) ¥2,052		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	英文理解問題(14回×1=14%) + ペア・グループワーク・プレゼンテーション(14回×2点=28%) + 定期試験(18%) + e-learning小テスト(3step・Power Words)(40%) = 合計100%のうち60%以上で合格とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	Introduction		
2回目	Communication		
3回目	Culture		
4回目	Nonverbal Communication		
5回目	Communicating Clearly		
6回目	e-learning 小テスト1回目 Culture and Values		
7回目	Culture and Perception		

8回目	Diversity
9回目	Stereotypes
10回目	Culture Shock
11回目	e-learning 小テスト2回目 Culture and Change
12回目	Talking about Japan
13回目	Becoming a Global Person
14回目	Extra Reading
15回目	Extra Reading
16回目	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005007	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E6) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Object Student	2E6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yandi_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控入室		
担当教員TEL/Tel	長崎県立大学(代表) 095-813-5500		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日1時限目、2時限目の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	多様なトピックをカバーする英文テキストやその学習リソースを用いて、Common European Frame of References of Languages (CEFR) B1レベルの英語運用能力のトレーニングをおこなう		
授業到達目標/Goal	CEFR B1~B2レベルの英語運用能力(特に英文テキスト読解、リスニング力)の習熟をはかる。		
授業方法(学習指導法)/Method	Reading:教材テキスト、プリント教材を用いた多読(Shadowing含む)指導/Listening:教材テキストのリスニング演習/Speaking:教材テキストの音読演習/Writing:B1~B2レベルの語彙・文法演習を兼ねた英文ライティング		
授業内容/Class outline/Con	教材テキスト、配布プリント(教材音声スクリプト等)、Online Workbookコンテンツを用いたクラス活動をおこなう。自律学習Online Workbookコンテンツの学習成果を、授業中に確認する		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	教材準拠のOxford Online Skills Program、教材テキストの英語音源を用いた音読、リスニング演習を自律学習してください。		
キーワード/Key word	CEFR B1~B2		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Soars, L. & J. (2016) American Headway 3rd ed. 3. (OUP)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	40% 大学課題(e-learning小テスト(3step CALL System, Power Words)) 60% クラス学習(テキスト教材、自律学習含む)		
受講要件(履修条件)/Requirements	履修クラス指定の学生、事前に履修登録が認められた学生のみが履修可です。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	www.oxfordlearn.com		
学生へのメッセージ/Message for students	課外学習として、教材準拠のOxford Online Skills Programで自律学習してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	Orientation (Oxford Online Skills Programの利用、音読、教材テキストのリスニング)		
2回目	Unit 1 A world of difference		
3回目	Unit 2 The work week		
4回目	Unit 3 Good times, bad times!		
5回目	Unit 4 Getting it right		
6回目	Unit 5 Our changing world e-learning小テスト1回目		
7回目	Midterm summary (Midterm Quiz)		
8回目	Unit 6 What matters to me		
9回目	Unit 7 Passions and fashions		
10回目	Unit 8 No fear!		

11回目	Unit 9 It depends how you look at it e-learning小テスト2回目
12回目	Unit 10 All things high tech
13回目	Unit 11 Seeing is believing
14回目	Unit 12 Telling it like it is
15回目	Review of the study

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005008	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2F1) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo_hotmail.co.jp のメールで受け付けます。(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜 12:50 ~ 14:20		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は英語を知識として終わらせるのではなく、活用できるスキルとして身につけていく授業です。各課のテーマに関連するKey word, key phraseを学習し、実際にそれらを活用した会話表現やプレゼンテーションをしていきます。		
授業到達目標/Goal	1. 学んだテーマについて、意義を理解することができる。 2. テーマについて具体例をあげて自身の意見を伝えることができる。 3. テーマについて説明することができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	この授業は座学で基盤的な知識を学び、実践でその知識を活用していきます。座学部分ではテーマに合わせてKey word, key phrase、英文法について学び、実践ではペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを通して、自身の考えを述べてもらいますので主体的な参加を求めます。		
授業内容/Class outline/Con	全回、前半では、あるテーマに基づいた英文を読み、関連するKey word、key phrase、の学習をします。また、その学習したkey word、key phraseを自身の言葉として伝える際に必要となる文法にも触れていきます。後半では、前半で学習したものを実践するため、ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを行い、self-expressionしてもらいます。第16回目は定期試験を実施します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回、テーマに沿って自身の意見を述べてもらいますので、予習の段階でテーマについて事前に調べておくこと。また、毎回、発表の場を設けますので、自身の意見を述べる表現方法の復習をしっかりしておいてください。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Journeys (朝日出版社) ¥2,000+税		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	英文理解問題(14回×1=14%) + ペア・グループワーク・プレゼンテーション(14回×2点=28%) + 定期試験(18%) + e-learning小テスト(3step・Power Words)(40%) = 合計100%のうち60%以上で合格とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	Introduction		
2回目	Communication		
3回目	Friendship		
4回目	Health		
5回目	Environment		
6回目	e-learning 小テスト1回目 Fahion		

7回目	Food
8回目	Science & Technology
9回目	Study Abroad
10回目	College Life in the U.S.
11回目	Steve Jobs
12回目	e-learning 小テスト2回目 Volunteer Work
13回目	Internship
14回目	Travel
15回目	Culture
16回目	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005009	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2F2) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	水産学部 (2F2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hijimasako yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります。		
授業到達目標/Goal	英語の音の基本を学び、シャドウイング演習を行い、スムーズな英語のコミュニケーションが行える力をつけます。 自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。ペアワークとグループワークをしますので、欠席しないようにしてください。インターネットを使って活動を行い、テキストの音読やパートナーとの読み合わせを行います。		
授業内容/Class outline/Con	<p>テキストとワークブックを使用して、リーディング、スピーキングの練習をします。インターネットの動画を利用して、モチベーションを高めます。大学のe-learning 教材を活用し、基礎力を養成します。</p> <p>授業内容-1回 オリエンテーション、教科書Unit 1、e-learning  授業内容-2回 教科書 Unit 2、Workbook 1、e-learning  授業内容-3回 教科書 Unit 3、Workbook 2、e-learning  授業内容-4回 教科書 Unit 4、Workbook 3、e-learning  授業内容-5回 教科書 Unit 5、Workbook 4、e-learning  授業内容-6回 教科書 Unit 6、Workbook 5、e-learning、e-learning小テスト1回目  授業内容-7回 教科書 Unit 7、Workbook 6、e-learning  授業内容-8回 教科書 Unit 8、Workbook 6、e-learning  授業内容-9回 教科書 Unit 9、Workbook 7、e-learning  授業内容-10回 教科書 Unit 10、Workbook 7、e-learning  授業内容-11回 教科書 Unit 11、Workbook 8、e-learning  授業内容-12回 教科書 Unit 12、Workbook 8、e-learning、e-learning小テスト2回目  授業内容-13回 教科書 Unit 13、Workbook 9、e-learning  授業内容-14回 教科書 Unit 14、Workbook 9、e-learning  授業内容-15回 教科書 Unit 15、Workbook 10、e-learning  授業内容-16回 期末試験</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning を行う ワークブックのスピーチを完成させる		
キーワード/Key word	リピーティング、シャドウイング、音読		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	音の基本とシャドウイング演習、開文社、Openvoice Workbook Basic, Kaigai Connection		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、e-learning 40% (3step Call System, Power Words), 授業中の発表10%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	シャイネスを打ち破り、元気に英語の勉強をしましょう

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005010	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2F3) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 10時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に付ける。暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し、表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。		
授業到達目標/Goal	英語のフレーズの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、英文を容易に覚えられるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して発音する。声に出すことで覚えた英語のフレーズを使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピートを行うことで、スキルの定着を図る。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英語のフレーズの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、英文を容易に覚えられるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して発音する。声に出すことで覚えた英語のフレーズを使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピートを行うことで、スキルの定着を図る。		
授業内容/Class outline/Con	英米の歌にみられる英語表現を中心として、重要な英文について、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチを進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、定着を図る。さらに、ダイアローグの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。英米の歌とその背景について解説する。歌を通して、英会話とコミュニケーションに対する意欲をさらに持てるように指導していく。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、CDを聴き、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード/Key word	英米の歌 / 文法と発音の強化 / 英語表現の容易な定着 / コミュニケーションのための文化の理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『英米人・日本人のこころの歌』(CD付き)(小笠原真司 / ウィリアム・コリンズ: 英光社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50%、e-learning 40%、小テスト10%を基準とします。定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。【e-learningの小テスト実施日程】授業の原則6回目、12回目です。また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をしてCDを聴いてから臨んでください。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。CDを聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかんでおきましょう。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 9月29日	導入・授業内容の説明
第2回 10月6日	UNIT 4 Puff ( The Magic Dragon )
第3回 10月13日	UNIT 5 Unchained Melody
第4回 10月20日	UNIT 6 Over the Rainbow
第5回 10月27日	UNIT 8 Tennessee Waltz
第6回 11月10日	UNIT 12 Grandfather's Clock 【e-learning 小テスト 第1回目】
第7回 11月17日	UNIT 11 Long, Long Ago
第8回 11月24日	UNIT 10 Dreaming of Home and Mother
第9回 12月1日	UNIT 13 The Last Rose of Summer
第10回 12月8日	UNIT 15・16 Mollie Darling / I've Been Working on the Railroad
第11回 12月15日	UNIT 17・18 Foster's Songs ( Old Black Joe / Old Folks at Home )
第12回 12月22日	UNIT 14 Home on the Range Unit 22・23 Christmas Songs 【e-learning 小テスト 第2回目】
第13回 1月5日	UNIT 18・19 ( ・20 ) Foster's Songs ( Old Folks at Home / My Old Kentucky Home / Beautiful Dreamer ) ( UNIT 3 Amazing Grace )
第14回 1月19日	UNIT 25・26 Twin Songs ( Londonderry Air / Danny Boy )
第15回 1月26日	UNIT 26 ( ・27 ) Danny Boy ( / Aloha Oe )
第16回 2月9日	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005011	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2G1) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟5F CALL教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	2G(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受付		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業を通して、英語を発信型言語のツールとして活用していく本格的訓練の場とする。		
授業到達目標/Goal	学生が中長期の留学をすることを念頭に置き、TOEFL iBT/IEALTS形式の問題演習を行うと同時に、アカデミック・プレゼンテーションの訓練を行う。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業では、前半をTOEFL iBT/IEALTSのテストゼミを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、学生の専門分野に応じたプレゼンを最終的にを行うことを前提に、着想の段階から一定程度のまとまった内容ができあがるまでのプロセスを指導する。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	academic presentation, summary writing		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト, 参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-learning小テスト(40%), 授業時の課題(40%), プレゼンテーション(20%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, Sample Listening Test		
第2回	Fill-in-the-blanks summary (1)		
第3回	Fill-in-the-blanks summary (2)		
第4回	Fill-in-the-blanks summary (3)		
第5回	Fill-in-the-blanks summary (4)		
第6回	e-learning小テスト(1), Fill-in-the-blanks summary (5)		
第7回	Email writing (1)		
第8回	Email writing (2)		
第9回	Email writing (3)		
第10回	Email writing (4)		

第11回	e-learning小テスト(2), Note-taking Skills (1)
第12回	Note-taking Skills (2)
第13回	Note-taking Skills (3)
第14回	Note-taking Skills (4)
第15回	Review

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005012	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2G2) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷川 晋一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷川 晋一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	谷川 晋一		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化] 総合教育研究棟 3F 32 番講義室		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shintanigawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	総合研究棟10階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時の口頭による申請とメールでの申請によって対応		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	15回の授業を2部構成とする。11月までの第1部では、中長期留学を見据え、IELTS及びTOEFLiBTを念頭に置いた英語力の向上に焦点を当てる。実用的な表現を検定試験において適切な形式と構成で用いる訓練を行う。12月からの第2部では、これまでに学習してきた英語4技能に関する力や技法を発展させる形で、英語での発信に重点をおいた学習を行う。毎回のテーマに沿って、学術的課題や社会問題を考察し、自分自身の意見や主張を英語で論理的にまとめ、発信する訓練を行い、最終的にはグループによる発表を行う。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定試験や講義等の学術的場面で用いられる語彙や表現を着実に身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。</li> <li>・文章構成やディスカッション、プレゼンテーションの基礎を正しく身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。</li> <li>・自分自身の意見や主張を論理的にまとめ、他者に向けて正確に発信できるようになる。</li> </ul>		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の冒頭では、予習・復習を兼ねた小テストや課題を実施する。</li> <li>・配布プリントを用いて、英語4技能について、総合的な学習を行う。</li> <li>・授業の最後では、作文の作成やグループ・ペアでの発表を行う。</li> </ul>		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書等は使用せず、プリント等の配布資料を用いる。参考書等は、講義中に提示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-learning: 40% 小テスト・課題: 50% 期末発表: 10%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、就学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理配慮の提供に取り組んでいる。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)に相談すること。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	原則として、全回出席をしなければ単位は成立しない。また、この授業では、予習・復習を前提とした出席と小テスト・課題を中心に、成績評価を行う。出席したとしても、予習・復習が不十分である場合には、必然的に、点数が低くなるため、その点に留意して、積極的に授業に取り組むこと。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	10月5日: オリエンテーション & 準備学習		
第2回	10月12日: 配布資料1		
第3回	10月19日: 配布資料2		

第4回	10月26日：配布資料3
第5回	11月2日：配布資料4
第6回	11月9日：e-learningテスト (1) & 配布資料5
第7回	11月16日：配布資料6
第8回	11月30日：配布資料7
第9回	12月7日：配布資料8
第10回	12月14日：配布資料9
第11回	12月21日：e-learningテスト (2) & 配布資料10
第12回	1月11日：配布資料11
第13回	1月18日：配布資料12
第14回	1月25日：配布資料13
第15回	2月1日：発表

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005013	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2G3) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	CONWAY JESSE / CONWAY JESSE		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	CONWAY JESSE / CONWAY JESSE		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	CONWAY JESSE / CONWAY JESSE		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生(クラス等) / Object Student	School of Global Humanities and Social Sciences		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jconway@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	n/a		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Thursday, 13:00 - 14:00, or by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>This course is designed to support the unique learning needs of students in the SGHSS faculty. Students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- become familiar with international educational standards</li> <li>- participate in both independent learning and group learning exercises</li> <li>- increase their confidence, fluency, and range of expression while utilizing English</li> <li>- prepare for the experience of study abroad, such as applying to programs and travelling/living independently</li> </ul> <p>The objective of these aims is to both increase interest in and prepare students for possible study abroad in their third year of studies. Furthermore, the course aims to further transform students into global citizens through the examination of current events and issues both affecting Japan and other countries around the world.</p>		
授業到達目標/Goal	<p>Students who successfully complete this course will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Both lead and participate in group discussions</li> <li>- Express their opinion and respond to opinions of others</li> <li>- Ask and respond to questions in classroom discussions</li> <li>- Prepare and deliver short oral presentations to small groups</li> <li>- Collaborate with other students to accomplish language-based tasks</li> <li>- Be aware of the concept of active listening</li> <li>- Synthesize multiple inputs to accomplish language-based tasks</li> <li>- Improve their reading fluency</li> <li>- Increase their vocabulary</li> <li>- Read and summarize short news articles</li> <li>- Identify and respond to requirements of study abroad programs</li> <li>- Be aware of differences in register used in writing</li> <li>- Write drafts of professional documents, such as emails to professors or statements of purpose for study abroad programs</li> </ul>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>This course will utilize a mixture of inputs for students, including, but not limited to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- course textbook</li> <li>- websites such as voanews.com</li> <li>- supplemental materials supplied by university study abroad programs</li> </ul> <p>Classes will be taught utilizing both task-based language teaching and project based learning approaches. Students will encounter new language, have chances to plan the use of that language, and practice using language together.</p>		
授業内容/Class outline/Con	The class will utilize the textbook as a jumping-off point for different themes related to travel and study abroad which will be explored in each week's class.		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	Students can prepare for the course by thinking about their interest in travel and study abroad, as well as speaking with students who have experienced or are currently experiencing a study abroad program.		
キーワード/Key word	SGHSS, study abroad, exchange, task based language teaching, project based learning		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>Inspire 2 Hartmann, Douglas, Boon Publisher: National Geographic Learning</p> <p>Additionally, students may need to utilize phones, tablets, or laptops to accomplish online-centered tasks both inside and outside of the classroom.</p>		

成績評価の方法・基準等/Evaluation	Course evaluation will be discussed in the first class session with students.
受講要件（履修条件）/Requirements	As the class meets only 15 times, attendance is mandatory for successful completion of the course objectives. Further information regarding absences will be provided in the first class session.
アクセシビリティ/Accessibility	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948 ( E-MAIL ) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
Oct. 5	Course and classroom introductions
Oct. 12	Defining objectives and setting goals for your study abroad
Oct. 19	What's it like to study abroad? - Part 1
Oct. 26	What's it like to study abroad? - Part 2
Nov. 2	Researching foreign universities and colleges
Nov. 9	Understanding which program is right for you
Nov. 16	Researching your future community
Nov. 30	Understanding your future program of study
Dec. 7	Differences between Japanese and foreign universities - Part 1
Dec. 14	Differences between Japanese and foreign universities - Part 2
Dec. 21	Funding your studies
Jan. 4	The application process - Part 1
Jan. 11	The application process - Part 2
Jan. 18	The application process - Part 3
Jan. 25	Final class, course evaluations

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005014	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2K1) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松本 知子 / Tomoko Matsumoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松本 知子 / Tomoko Matsumoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松本 知子 / Tomoko Matsumoto		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2K1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tmatsumoto niu.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	0956-20-5532 (長崎国際大学人間社会学部国際観光学科)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は、授業中、授業の前後、もしくはEメール (tmatsumoto@niu.ac.jp) にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	世界中で親しまれているスヌーピーの漫画を読むことで、英語に対するアレルギーをなくし、多様なアクティビティで積極的な授業参加を促します。日常よく使われる英語表現と、基礎的なポイント文法を学習し、基本から英語を習得することを目標とします。授業では、漫画の内容と面白い点やオチをペアで英語でプレゼンをしてもらうこととします。		
授業到達目標/Goal	1. 身近な話題や経験について、読んだり書いたりすることができる。 2. 英語の読み書きの際に、英語の構造を活用することができる。 3. 日常生活に関するトピックについて英語でコミュニケーションをとることができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	教科書をベースとして、ペアもしくはグループで行うディスカッションやクラス全体での意見交換の機会も設け、主体的な参加を求めます。毎回、授業時間の半分は後半のUnitの演習問題を行います。授業時間の残り半分は、3人で前半のUnitの内容に関するプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションの内容は、漫画の内容を英語で説明し、教科書の演習問題を解説し、面白い点やオチを英語で説明してもらいます。そして、クラス全体で質疑応答の時間を設けます。		
授業内容/Class outline/Con	1回目の授業で、成績評価・基準、授業の進み方の説明などについて、オリエンテーションをします。授業の1, 2回目にテキストのUnit1と11を行い、3回目からは、授業1回につきプレゼンテーションを2つのストーリーずつ進めます。ペア・グループ活動がメインとなります。7回目に課題を課し、16回目に定期試験を実施します。なお、5回目にe-learning小テスト1回目、11回目にe-learning小テスト2回目を実施します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前には、重要単語や語句の意味の確認を辞書を用いて行い、授業後には、音読練習をしていただください。プレゼンテーションの準備では、原稿を読まないですむように練習していただください。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『Fun English with SNOOPY スヌーピーと楽しく学ぶ基礎英語』 / Hidehiko Konaka 著 / CENGAGE (2,160円)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、定期試験 (30%)、授業時に出される宿題を含む課題の成績 (10%)、授業での質疑応答や会話練習などにおける積極的な取り組み (20%)、e-learning (40%) で行います。課題レポートは、第7回目にそれまでの授業内容に関する課題を課し、内容を評価します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業前には、重要単語や語句の意味の確認を辞書を用いて行い、授業後には、音読練習をしていただください。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	・遅刻、欠席、途中退室などをせず、積極的に授業に参加することを期待します。 ・授業前には、重要単語や語句の意味の確認を予習として行い、授業後には、音読練習をしていただください。 ・辞書 (電子辞書可) を持参の上、授業に臨んでください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	オリエンテーション 授業内容と評価方法等の説明、アンケートの実施
第2回	Unit 11, Unit 1(1), (2)発表, I know what I should have said. You don't have to do/must have done/ for A to do助動詞
第3回	Unit 11, Unit 1(3), Unit 2(1)発表, I know what I should have said. You don't have to do/must have done/ for A to do 助動詞
第4回	Unit 12, Unit 2(2),(3)発表, I don't want to get him in the stomach with the ball. ask A to do/I need to do/I don't want to do 受動態
第5回	e-learning小テスト第1回目, Unit 12, Unit 3(1),(2)発表, I don't want to get him in the stomach with the ball. ask A to do/I need to do/I don't want to do 受動態
第6回	Unit 13, Unit 3(3), Unit 4(1)発表, Are you going to stay home this summer? let A do/have trouble doing/get A to do 不定詞
第7回	課題発表, Unit 13, Unit 4(2),(3)発表, Are you going to stay home this summer? let A do/have trouble doing/get A to do 不定詞
第8回	Unit 14, Unit 5(1)(2)発表, I'll just impress her by how many hot dogs I can eat. It's time for A/I'm worried about A/It's nice doing   動名詞
第9回	Unit 14, Unit 5(3), Unit 6(1)発表, I'll just impress her by how many hot dogs I can eat. It's time for A/I'm worried about A/It's nice doing   動名詞
第10回	Unit 15, Unit 6(2)(3)発表, Being in love with two different girls can make you do strange things. go doing/make A do/watch A doing   分詞
第11回	e-learning小テスト第2回目, Unit 15, Unit 7(1)(2)発表, Being in love with two different girls can make you do strange things. go doing/make A do/watch A doing   分詞
第12回	Unit 16, Unit 7(3), Unit 8(1)発表, It is often seen in persons with sedentary jobs. be awake/one of the+最上級+A/I'm afraid (that)...   形容詞・副詞
第13回	Unit 16, Unit 8(2)(3)発表, It is often seen in persons with sedentary jobs. be awake/one of the+最上級+A/I'm afraid (that)...   形容詞・副詞
第14回	Unit 17, Unit 9(1)(2)発表, After a trial, my clients are always more depressed than I am. be likely to do/I guess (that).../There's a possibility that...   比較
第15回	Unit 17, Unit 9(3), Unit 10(1)発表, After a trial, my clients are always more depressed than I am. be likely to do/I guess (that).../There's a possibility that...   比較
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005015	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2K2) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	寺田 よしみ / Terada Yoshimi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	寺田 よしみ / Terada Yoshimi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	寺田 よしみ / Terada Yoshimi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	terasan1123 outlook.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	terasan1123@outlook.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は、授業中、授業の前後、若しくはEメールにて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	さまざまな方法で行うインタラクティブな会話練習を通して、会話への抵抗感を下げ、語彙と表現の増強を図ります。身近なトピックであれば、自分の考えを言うことができる、若しくは、会話を楽しむことができるようになるシラバスです。		
授業到達目標/Goal	間違いを恐れずコミュニケーションをとろうとする積極的な姿勢をつくる。 身近なトピックについて、自分の意見を言う。 パターンプラクティスから脱却した会話ができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	テキストをベースに、ペアもしくはグループ(4人程度)でコミュニケーション活動を行います。また、問題解決型のタスク活動、インフォメーションギャップ、ロールプレイ、スピーチなど多彩なアクティビティを採用します。		
授業内容/Class outline/Con	1回目の授業でテキスト販売、Q&Aリストの配布・成績評価・基準、授業の進み方の説明など、オリエンテーションをします。授業の1, 2回目にテキストのユニット1を行い、3回目からは、授業1回につき1ユニットずつ進みます。ペア・グループ活動がメインとなります。8回目に中間試験としてスピーチ、16回目に期末試験を課します。なお、5回目にe-learning小テスト1回目、11回目にe-learning小テスト2回目を行います。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	オーラルテスト(Q&A)は授業2回目より、実施します。1回目のオリエンテーションにて質問リストを渡しますので、回答できるように練習をしておいてください。テキストは予習として、必ず内容に目を通し、わからない単語は辞書で確認してください。会話中に自分が使うことが予想される単語をテキスト余白に書き出しておく、スムーズな会話の一助となります。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Within Your Reach (南雲堂) 初回授業日に販売しますので、購入のこと。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-learning:40% (3step CALL System, Power Words) 積極的な授業態度:10% オーラルテスト(Q&A):10% 中間試験(スピーチ):10% 期末試験:30%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業への積極的な参加と予習を期待します。発表の機会が多いと考えてください。辞書は必携です。		

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005016	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2K3) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2K3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火4 水4 木2		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語でのコミュニケーション活動がスムーズにできるように、基礎的な英語の発音やリズム練習を行います。さらに、リスニングストラテジーに基づいたトレーニングを行い、いろいろな会話場面で十分コミュニケーション活動が行えるようにします。また、日本文化に関して、英語で説明できるような簡単なプレゼンの練習も行い、自信を持って英語を発信できるようにします。		
授業到達目標/Goal	テキストの中の重要な英語の構文は、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化し、自然と発話できるレベルまでにします。英会話レベルを超えて、少し長いレベルの英語も発話できるようにします。また、基本的なリスニングストラテジーを身につけてもらい、簡単な英語ニュースやダイアログなら、内容の概要を聞き取れるようにします。また、簡単なプレゼンを、自信もって英語でできるようにします。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。家庭でテキスト付属のCDを利用して、リスニングの問題の解答を作成して、授業に臨んでください。授業では、CDを用いて解答の確認をし、それらの英文の発話練習を行います。また、それらの英文を利用して、ダイアログを作成したり、テキストの英文を参考にして、簡単な日本文化に関するプレゼンの練習をします。また、2回程度、プレゼンテーション用のスピーチ用の英文の原稿を書いてもらい、ペアやグループでの英語によるスピーチ練習をします。		
授業内容/Class outline/Con	e-learning 教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自の小テストを行います。  授業はテキストを用いて、CDを聞きながら、予習してきたリスニング問題の解答を行います。その後、話すための大切な英語構文を整理しながらCDを用いて、英語を繰り返す練習を行います。これは、リピーティング練習といい、英語の構文を内在化する(身につける)には効果的な練習方法です。この練習を20分程度行い、その後、ダイアログを作成したり、日本文化を語るための簡単な英文を作成したりします。 さらに、応用練習として、ペアやグループになってもらい、課題として作成したプレゼンテーション用の原稿を用いてのスピーチ練習を行います。もちろん、この原稿を書くための指導も行います。 なお、e-learning 教材を課題学習として、授業外に行ってもらいますが、授業中も30分程度、3 Step と Power Wordsの学習をしてもらい、その内容の指導や小テストも行います。 この授業に関しては、決して受身的な態度で参加しないでください。授業の効果を上げるためにも、学生は極力欠席を避け、積極的に授業に参加してください。毎回、課題がでますので、なによりも家庭学習をきちんとすることが大切です。学生の積極的な取り組みを期待します。真剣に授業に参加し、家庭学習もきちんとすれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	Repeating, Pair Work, Listening Strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): Let's Make a Skit Presentation! (英宝社) ¥1,800		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験40%、プレゼンペーパー10% 授業でのアクティビティ10% e-learning 40% で行います。 e-learning の内容に関しては、1回目の授業時に説明します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning 教材（3 Step やパワーワード）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション リピーティング練習体験 機能編：質問する、依頼する、確認する等 日本文化を語る 金沢 Power Words Level 6 Unit 1-5 3 Step People at Work
第2回	リピーティング練習1 機能編：あやまる、感謝を表す、賛成する等 日本文化を語る 小笠原諸島 3 Step People at Work Power Words Level 6 Unit 6-10
第3回	リピーティング練習2 主語をつかひこなす 日本文化を語る 長崎県 3 Step People at Work Power Words Level 6 小テスト
第4回	リピーティング練習3 疑問文パターン練習 日本文化を語る 入学式 3 Step People at Work Power Words Level 6 Unit 11-15
第5回	e-learning テスト第1回目 日本文化を語る 焼酎 Power Words Level 6 Unit 16-20
第6回	リピーティング練習5 助動詞の気持ちをつかむ(1) 日本文化を語る 留学 Power Words Level 6 小テスト 3 Step People at Work
第7回	リピーティング練習6 助動詞の気持ちをつかむ(2) 日本文化を語る 漫画 スピーチ練習課題A作成指導 3 Step People at Work Power Words Level 6 Unit 21- 25
第8回	リピーティング練習7 名詞節が含まれる文(1) 日本文化を語る 祇園祭り スピーチ練習課題A提出 3 Step People at Work Power Words Level 6 Unit 26-30
第9回	リピーティング練習8 名詞節が含まれる文(2) 日本文化を語る 九州 スピーチ練習課題Aを用いたペア練習 3 Step People at Work Power Words Level 6 小テスト
第10回	リピーティング練習9 完了形の文 日本文化を語る 日本人のマナー スピーチ練習課題Aを用いたペア練習 3 Step People at Work Power Words Level 6 Unit 31-35
第11回	e-learning テスト第2 回目 リピーティング練習10 進行形、受動態を含んだ文 日本文化を語る 野球 Power Words Level 6 Unit 36-40
第12回	リピーティング練習 比較表現 日本文化を語る ラーメン Power Words Level 6 テスト

第13回	リピーティング練習12 動詞のパターン練習 日本文化を語る 島津斉彬と集成館 スピーチ練習課題B作成指導 Power Words Level 6 Unit 41~45
第14回	リピーティング練習13 使役動詞のパターン 日本文化を語る 歌舞伎 スピーチ練習課題B提出 ペア練習 Power Words Level 6 Unit 46~50
第15回	リピーティング練習14 知覚動詞のパターンテキスト 日本文化を語る 自動車産業 スピーチ練習課題B ペア練習 Power Words Level 6 テスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005017	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2L1) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2L1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月3 水3 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語でのコミュニケーション活動がスムーズにできるように、基礎的な英語の発音やリズム練習を行います。さらに、リスニングストラテジーに基づいたトレーニングを行い、いろいろな会話場面で十分コミュニケーション活動が行えるようにします。また、日本文化に関して、英語で説明できるような簡単なプレゼンの練習も行い、自信を持って英語を発信できるようにします。		
授業到達目標/Goal	テキストの中の重要な英語の構文は、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化し、自然と発話できるレベルまでにします。英会話レベルを超えて、少し長いレベルの英語も発話できるようにします。また、基本的なリスニングストラテジーを身につけてもらい、簡単な英語ニュースやダイアログなら、内容の概要を聞き取れるようにします。また、簡単なプレゼンを、自信もって英語でできるようにします。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。家庭でテキスト付属のCDを利用して、リスニングの問題の解答を作成して、授業に臨んでください。授業では、CDを用いて解答の確認をし、それらの英文の発話練習を行います。また、それらの英文を利用して、ダイアログを作成したり、テキストの英文を参考にして、簡単な日本文化に関するプレゼンの練習をします。また、2回程度、プレゼンテーション用のスピーチ用の英文の原稿を書いてもらい、ペアやグループでの英語によるスピーチ練習をします。		
授業内容/Class outline/Con	e-learning 教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自の小テストを行います。  授業はテキストを用いて、CDを聞きながら、予習してきたリスニング問題の解答を行います。その後、話すための大切な英語構文を整理しながらCDを用いて、英語を繰り返す練習を行います。これは、リピーティング練習といい、英語の構文を内在化する(身につける)には効果的な練習方法です。この練習を20分程度行い、その後、ダイアログを作成したり、日本文化を語るための簡単な英文を作成したりします。 さらに、応用練習として、ペアやグループになってもらい、課題として作成したプレゼンテーション用の原稿を用いてのスピーチ練習を行います。もちろん、この原稿を書くための指導も行います。 なお、e-learning 教材を課題学習として、授業外に行ってもらいますが、授業中も30分程度、3 Step と Power Wordsの学習をしてもらい、その内容の指導や小テストも行います。 この授業に関しては、決して受身的な態度で参加しないでください。授業の効果を上げるためにも、学生は極力欠席を避け、積極的に授業に参加してください。毎回、課題がでますので、なによりも家庭学習をきちんとすることが大切です。学生の積極的な取り組みを期待します。真剣に授業に参加し、家庭学習もきちんとすれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	Repeating, Pair Work, Listening Strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): Let's Make a Skit Presentation! (英宝社) ¥1,800		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験40%、プレゼンペーパー10% 授業でのアクティビティ10% e-learningテスト 40% で行います。 e-learning の内容に関しては、1回目の授業時に説明します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning 教材（3 Step やパワーワーズ）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション リピーティング練習体験 機能編：質問する、依頼する、確認する等 日本文化を語る 金沢 Power Words Level 5 Unit 1-5 3 Step New York Live
第2回	リピーティング練習1 機能編：あやまる、感謝を表す、賛成する等 日本文化を語る 小笠原諸島 3 Step New York Live, Power Words Level 5 Unit 6-10
第3回	リピーティング練習2 主語をつかひこなす 日本文化を語る 長崎県 3 Step New York Live, Power Words Level 5 小テスト
第4回	リピーティング練習3 疑問文パターン練習(1) 日本文化を語る 入学式 3 Step New York Live, Power Words Level 5 Unit 11-15
第5回	リピーティング練習4 疑問文パターン練習(2) 日本文化を語る 焼酎 3 Step New York Live Power Words Level 5 Unit 16-20
第6回	e-learning 小テスト 第1回目 リピーティング練習5 助動詞の気持ちをつかむ(1) 日本文化を語る 留学 Power Words Level 5 小テスト 3 Step New York Live
第7回	リピーティング練習6 助動詞の気持ちをつかむ(2) 日本文化を語る 漫画 スピーチ練習課題A作成指導 3 Step New York Live Power Words Level 5 Unit 21- 25
第8回	リピーティング練習7 名詞節が含まれる文(1) 日本文化を語る 祇園祭り スピーチ練習課題A提出 3 Step New York Live Power Words Level 5 Unit 26-30
第9回	リピーティング練習8 名詞節が含まれる文(2) 日本文化を語る 九州 スピーチ練習課題Aを用いたペア練習 3 Step New York Live Power Words Level 5 小テスト
第10回	リピーティング練習9 完了形の文 日本文化を語る 日本人のマナー スピーチ練習課題Aを用いたペア練習 3 Step New York Live Power Words Level 5 Unit 31-35
第11回	リピーティング練習10 進行形、受動態を含んだ文 日本文化を語る 野球 3 Step New York Live Power Words Level 5 Unit 36-40
第12回	e-learning 小テスト 第2 回目 リピーティング練習 比較表現 日本文化を語る ラーメン Power Words Level 5テスト

第13回	リピーティング練習12 動詞のパターン練習 日本文化を語る 島津斉彬と集成館 スピーチ練習課題B作成指導 Power Words Level 5 Unit 41~45
第14回	リピーティング練習13 使役動詞のパターン 日本文化を語る 歌舞伎 スピーチ練習課題B提出 ペア練習 Power Words Level 5 Unit 46~50
第15回	リピーティング練習14 知覚動詞のパターンテキスト 日本文化を語る 自動車産業 スピーチ練習課題B ペア練習 Power Words Level 5 テスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005018	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2L2) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo_hotmail.co.jp のメールで受け付けます。(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜 12:50 ~ 14:20		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	外国の方々が不思議に感じた日本に関するエピソードに触れ、会話文音声でリスニング力、各エピソードに対する自身の意見を述べることでスピーキング力の養成を行います。		
授業到達目標 / Goal	1. 会話を聞き、何が話題になっているのか理解できる。 2. 日本文化について自身の言葉で説明することができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	座学で、日本が不思議と思われる所以を多角的に分析し、グループまたはペアで意見交換の機会を設ける。よって、主体的な参加を求めます。		
授業内容 / Class outline / Con	15回のうち5回は食べ物に関して、3回は日本人の行動に関して、そして残りの7回は日本文化に根付いているものに関して授業前半部分で理解を深めていき、授業後半、グループ・ペアワークを通してディスカッションしていく。16回目に定期試験を実施します。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回、授業で扱ったエピソードについて意見を求めます。ディスカッションできるよう、ディスカッションの部分をも前もって予習しておいて下さい。また、ディスカッション後の意見もしっかりまとめておいて下さい。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Surprising Japan! 2 (松柏社) ¥1,850 + 税		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業内取り組み (5%) + ペア・グループディスカッション (14回 × 2 = 28%) + e-learning 小テスト (3 step・Power Words) (40%) + 定期試験 (27%) = 合計100%のうち60%以上を合格とする。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	Introduction		
2回目	What makes Kobe beef so special?		
3回目	What are those backpacks Japanese schoolchildren wear?		
4回目	What are the seven things in shichimi?		
5回目	Why does Japan's postal symbol look like that?		
6回目	e-learning 小テスト1回目 Why is there plastic grass in my bento?		
7回目	Why is there a 5 o'clock bell?		
8回目	Why do train drivers in Japan make those strange gestures?		

9回目	How is nori made?
10回目	Why do Japanese wear masks?
11回目	Why do the dates on food packages mean?
12回目	e-learning 小テスト2回目 Why do Japanese ask about blood type?
13回目	Do Japanese mosquito coils work?
14回目	Why does miso soup move by itself?
15回目	Why are those giant concrete things by the sea?
16回目	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005019	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2L3) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲田 俊明 / Toshiaki Inada		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲田 俊明 / Toshiaki Inada		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	稲田 俊明 / Toshiaki Inada		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2L3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inadat nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜3限 (事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語の論説について英語と日本語・英語による要約する能力を養う。 課題について英語で論述し、グループでプレゼンテーションを行う。 英文のリスニングの能力を養う。		
授業到達目標/Goal	英語の論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 英語の論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 課題について、英語で議論するためのライティング能力を身に付ける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	配布する教材により、英文の要約、聞き取りを行う。 3回に1回は、リスニング・テストを行う。 毎週、語彙テストを行い、数回、課題の提出を求める。		
授業内容/Class outline/Con	まず、英語の論説やアメリカの大学に関連する記事について要約する訓練を行い、次に、英語のライティングの訓練のために、英文要約作文、課題作文を行う。最後に、英語プレゼンテーションの基礎と実践を行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教材は授業で配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業で課す課題 10 % 3-STEPとPower Words 小テスト 40 % 期末テスト 50 %		
受講要件 (履修条件) /Requirements	同クラスの履修経験のないもの		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	事前に、教材と指定された課題を十分に学修しておくこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	COURSE OUTLINE (導入): 教材配布		
第2回	英文速読教材(1)		
第3回	英文速読教材(2)		
第4回	Listening Comprehension Quiz (第1回)		
第5回	英文要約教材(1)		
第6回	e-learning 小テスト(1) 英文要約教材(2)		

第7回	Listening Comprehension Quiz (第2回)
第8回	英語要約課題(3)
第9回	英語要約課題(4)
第10回	Listening Comprehension Quiz (第3回)
第11回	英文交渉メールの基礎と練習
第12回	e-learning 小テスト(2) 英語課題作文練習(1)
第13回	英語課題作文練習(2)
第14回	英語プレゼンテーションの基礎
第15回	英語プレゼンテーション
第16回	期末試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005020	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2L4) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Object Student	2L4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yandi_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控え室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	1時限目と2時限目の間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	Speakout 2nd ed. Intermediate (Pearson)を中心に英語学習をおこなう。		
授業到達目標/Goal	CEFR B1レベルの英語運用能力を涵養する。		
授業方法(学習指導法)/Method	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Listening &amp; Writing 教材テキストの英語音源利用</li> <li>2. Reading 教材テキスト+配布教材</li> <li>3. Writing 課題(教材テキストコンテンツに準拠)を適宜課す</li> <li>4.</li> </ol>		
授業内容/Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前回学習内容の確認(前回学習分のDictation)</li> <li>2. DVD映像、CD音源を用いた教材テキストの学習</li> <li>3. 基礎確認(英語語彙、英語基礎文法の習熟)</li> <li>3. 学生発表(教材英文スクリプト等を用いたテキスト音読、ロールプレイ演習)</li> </ol>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	テキスト付属のDVD-ROMに学習コンテンツ(映像、音声、教材Transcript)が張っているので、事前学習、事後学習に活用してください。		
キーワード/Key word	four skills (Reading, Listening, Speaking, & Writing skills), CEFR B1		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Clare, A. & Willson, J.J. (2015) Speakout 2nd ed. Intermediate student's book. Pearson		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	大学評価システムに準拠。 40% (e-learning小テスト(3step CALL System, Power Words)) 60% (教材テキストに基づく評価)		
受講要件(履修条件)/Requirements	対象クラスの学生、その他履修時に受講が認められた学生のみがこのクラスを受講できる。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	www.english.com/speakout		
学生へのメッセージ/Message for students	教材テキストの英語音源をスマホ等にダウンロードして自律学習を心がけましょう。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	Orientation ((A brief guide to Speakout 2nd ed.))		
2回目	Unit 1 Identity		
3回目	Unit 2 Tales		
4回目	Unit 3 Future		

5回目	Unit 4 Jobs
6回目	Unit 5 Solutions e-learning小テスト1回目
7回目	Midterm summary ((Review of the first half of the text, Midterm Quiz)
8回目	Unit 6 Emotion
9回目	Unit 7 Success
10回目	Unit 8 Communities
11回目	Unit 9 History
12回目	Unit 10 World e-learning小テスト2回目
13回目	Review of the Video contents 6 to 10, Students' performance 1
14回目	Students' performance 2
15回目	Summary of the second half of the text

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005021	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2L5) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2L5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujiuchi_nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (内線335)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。		
授業到達目標/Goal	英語のテレビ放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。正しくe-learningが行われ、予復習も適切である場合、CEFR A2レベルかそれ以上の習熟度に到達する予定である。		
授業方法(学習指導法)/Method	CALL教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。		
授業内容/Class outline/Con	教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。 授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。 主教材は、主に現代日本の時事に関するNHK BSのニュースを題材にしたDVD教材。第1回目のオリエンテーションにて受講生のリクエストを募り、以降、そのリクエストどおりに授業を進行させる。教科書にある英作文を課題として課し、提出させる。受講生は主教材付属のDVDを見て、事前に予習をすること。 授業の進行が明確に分かっているので、欠席者は次の授業の準備をすること。DVDを見る装置が自宅にない場合でも、図書館を利用するなどの方策を自分で考えること。教科書は設問に解答だけでなく、本文の音読を予習や復習に取り入れること。1回視聴して内容を理解出来る程度の復習を前提にします。授業も最終試験も難しいので、常に復習を怠らないように。また、最終試験の評価割合が少ないので、時間外の学習を怠らないように。 定期試験 16回目開講時		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	主教材: What's on Japan 11(金星堂) 副教材: Campus Listening(成美堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	全て主教材より 定期試験40%(単語理解6%、本文内容ディクテーション 14%(部分点あり)、内容理解15%、課題英作文 5%(部分点あり)) 平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出) 課外学習のe-learning小テスト40%(3 Step CALL、PowerWords) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	教科書を購入し、発音記号が載っている英和辞典を必ず携帯して授業に臨むこと。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての生が平等に教育を受ける機会確保するため修め妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TELL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	4/6 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認		

第2回	4/13 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ
第3回	4/20 副教材 Unit 3、主教材 教科書継続、または新章へ
第4回	4/27 副教材 Unit 4、主教材 教科書継続、または新章へ
第5回	5/11 副教材 Unit 5、主教材 教科書継続、または新章へ
第6回	5/18 副教材 Unit 6、主教材 教科書継続、または新章へ e-learning小テスト第一回目
第7回	5/25 副教材 Unit 7、主教材 教科書継続、または新章へ
第8回	6/1 副教材 Unit 8、主教材 教科書継続、または新章へ
第9回	6/8 副教材 Unit 9、主教材 教科書継続、または新章へ
第10回	6/15 副教材 Unit 11、主教材 教科書継続、または新章へ
第11回	6/22 副教材 Unit 12、主教材 教科書継続、または新章へ
第12回	6/29 副教材 Unit 13、主教材 教科書継続、または新章へ e-learning小テスト二回目
第13回	7/6 副教材 Unit 14、主教材 教科書継続、または新章へ
第14回	7/13 副教材 Unit 21、主教材 教科書継続、または新章へ
第15回	7/20 副教材 Unit 24、主教材 教科書終了
第16回	8/3 定期試験 90分、提出物最終締め切り

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005022	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2L6) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村岡 三奈子 / Muraoka Minako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	村岡 三奈子 / Muraoka Minako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	村岡 三奈子 / Muraoka Minako		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2L6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	muraoka_n-junshin.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日昼休み または、muraoka_n-junshin.ac.jp にて随時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	映画を教材として、場面や状況に応じた生きた英語表現を身につけることを目指す。		
授業到達目標/Goal	基本的構文および文法事項に留まらず、生きた英語表現や文化的知識を身につけることが出来る。		
授業方法(学習指導法)/Method	原則として、毎週、テキストを1章ずつ進めながら、英語の4技能をバランスよく学習する。		
授業内容/Class outline/Con	視聴覚教材を用いながら、ストーリーの内容を把握し、スクリプトの文法や英語表現に習熟する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の予習課題として、基本語句を学習し、スクリプトを読んでおくこと。		
キーワード/Key word	English Communication		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Music of the Heart (EIHOSHA)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト: 10% プレゼンテーション: 10% 定期試験: 40% 課外学習の e-learning: 40% (詳細は第1回目の授業で説明)		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するために、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先: TEL: 095-819-2006 FAX: 095-819-2948 E-MAIL: support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	毎回、課題プリントを予習して臨んで下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月13日: インタロダクション		
第2回	4月20日: 第1章		
第3回	4月27日: 第2章		
第4回	5月11日: 第3章		
第5回	5月18日: まとめ(1)		
第6回	5月25日: 第4章/e-learning小テスト1回目		
第7回	6月1日: 第5章		
第8回	6月8日: 第6章		
第9回	6月15日: 第7章		

第10回	6月22日：第8章
第11回	6月29日：まとめ(2)
第12回	7月6日：第9章/e-learning小テスト2回目
第13回	7月13日：第10章
第14回	7月20日：プレゼンテーション準備
第15回	7月27日：プレゼンテーション
第16回	8月3日：定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005023	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2M1) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2M1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00 ~ (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語) - 必要最低限の英語(及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることが出来るリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法 (学習指導法) /Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、課外学習のe-Learning小テスト40%(3 Step、Power Words)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	e-learning小テスト(1回目)、連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+t/と/n/+d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	On an Airplane(1)
第12回	e-learning小テスト(2回目)、On an Airplane(2)
第13回	At an Airport(1)、洋楽を利用したリスニング
第14回	At an Airport(2)、洋楽を利用したリスニング
第15回	Taking a Taxi、洋楽を利用したリスニング
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005024	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2M2) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2M2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hamasaki_wesleyan.ac.jp 欠席報告はメールではなく、後日届けを提出してください。(メールを送信する際は @ を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	単位に関するお問い合わせは、事務を通して行ってください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 時間帯は講義にてお知らせいたします。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語でコミュニケーションを成立させるための様々なスキルを考え、これを実践します。今それぞれが持てる英語力で、最大限のコミュニケーション能力を習得出来るようにします。頭で英文を思い描くために、核となるイメージを養っていきます。また、Group Workを通して、コミュニケーションも豊かにとれるよう積極性を持てるようにします。		
授業到達目標/Goal	簡単な日常英会話を躊躇なく運用出来るようにします。		
授業方法 (学習指導法) /Method	理解ある同じ受講生とのコミュニケーションは、プレッシャーを軽減する利点があります。受講生同士ペアやグループを組み、その落ち着いた状況で教科書の会話例をもとにテーマに沿って会話を発展させていきます。		
授業内容/Class outline/Con	Text内の、各UnitにはTopicが設けられて基本的なConversationが成されています。そのTopicとConversationを基礎に各自、各グループで考えられるSituationを想定して、Conversationを展開して行きます。日本人に独特な、発音出来るだけNativeに近いものに修正し、これまで学んできた英語をPracticalなものになるような授業にいたします。 下記には理想的な進行を計画として立てておりますが、クラスの能力によっては進行を遅くする場合も想定されます。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	脱受験英語 イメージからの英語表現へ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Let's Make a Skit Presentation (英宝社) 各自持っている参考書、辞書(英和、和英) この授業では、辞書はかなり重要です。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Positive Class Attendance and Participation: 15% (講義中の睡眠、携帯操作等マイナス態度) 課外学習のe-learning 40% (3 Step・PowerWords) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Mid-Term Examination 15% Final Examination 30%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為は大人としてのモラルをもって自重してください。(スマートフォンの操作等) 無断遅刻・欠席回数1/3以上はClass Attendance and Participationを0%と致します。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	中間、期末テストはGroup Workになり、Group内でのコミュニケーションも非常に重要になります。無断欠席、遅刻などは他の受講者にも非常に迷惑をかけることになるので、必ず責任ある態度で講義に望んでください。特に再履修の学生は、この点をよく考えてから決断してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction
第2回	Unit 1 言語機能別英会話(1) Group Making
第3回	Unit 2,3 言語機能別英会話(2), 主語として便利なwe, you, they Mid-Term Examinationへ向けてTopicを決定
第4回	Unit4,5 疑問文のパターン(1),(2)
第5回	Unit 6,7 助動詞を使った文(1),(2)
第6回	Preparation for the Mid-Term Examination 調査した表現・これまでの授業で学んだ文法の確認 5月15日 e-learning 小テスト1回目(30分程度)
第7回	5月23日 Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work)
第8回	5月30日 Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work) Mid-Term Examinationの反省点と修正点の分析
第9回	Unit 8 名詞節を使った文(1) Group Making Topicの決定 Final Examinationに向けてGroupとしての取り決め(反省点をいかして)
第10回	Unit 9 名詞節を使った文(2) Final Examinationに向けてTopicの最終決定期限
第11回	Unit 10,11,12 完了形の文、進行形、受動態の文、比較や程度を表す文
第12回	Unit 10,11,12 完了形の文、進行形、受動態の文、比較や程度を表す文 6月27日 e-learning 小テスト2回目(30分程度)
第13回	Unit 13,14,15 意識して動詞のパターンを話そう!
第14回	Unit 13,14,15 意識して動詞のパターンを話そう! Mid-Term Examを省みて修正した事項を最終確認
第15回	Final Examination, Group Presentation 7月25日
第16回	Final Examination, Group Presentation 8月1日

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005025	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2M3) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	2M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumura_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター1階(文教)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、または個別相談は事前にメールで時間を約束してから研究室へ来てください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	to familiarize students with the target culture by introducing themselves through pictures and finally producing digital story telling videos collaboratively. Plus Dictogloss activities about Japanese culture.		
授業到達目標/Goal	To upgrade students' communication skills in English, their Intercultural Communicative Competence and understanding of cultural diversities, and integrate knowledge with skills acquired through Dictogloss activities on Japanese culture, and communication with Taiwanese students.		
授業方法(学習指導法)/Method	Dictogloss activities, Lecture, Collaborative activities, Discussion in classroom and on the F.B.		
授業内容/Class outline/Con	to familiarize students with the target culture by introducing themselves through pictures and finally producing digital story telling videos collaboratively. Students will choose three pictures to represent themselves in each of the three stages of their life?past, present, and future. Each picture has a story to tell. Students will have to post their pictures onto the Facebook group with detailed descriptions of the picture, including points of focus on who, what, when, where, and how in each story. Students also need to raise questions to their global peers and answer questions from their partners. After exchanging pictures that signify their past, present, and future, students will work collaboratively with their global partners to produce a digital story together!		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	Need to be familiar with Face Book activities and do all assignments as required. Positive participation in the activities will contribute students' final grades.		
キーワード/Key word	Presentations, discussion, communication skills in English, and understanding of cultural diversities		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Materials will be provided by the instructor		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	1. Attendance and positive participation (10%) 2. FB Discussion (5%×3) 3. Journals (5%×3) 4. Presentation (10%) 5. Speech test (10%) 6. e-learning小テスト(3step・Power Words) (40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements	No credit with more than 5 times absence		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
1	1. Set up Facebook, Skype, and LINE account. 2. Form a group of four. Start to post short self-introduction to the Facebook group. Orientation		

2	<p>Past</p> <p>Find three images to represent yourself in the past. Each picture needs to have descriptions of 100 words.</p> <p>? Image (1): Descriptions</p> <p>? Image (2): Descriptions</p> <p>? Image (3): Descriptions</p> <p>Activity1-6</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Make a collage.</li> <li>2. Write about your personal reflections of the exchange process.</li> <li>3. What did you share with your Taiwanese partner?</li> <li>4. What did your Taiwanese partner share with you?</li> <li>5. What have you learned from this process?</li> <li>6. What differences and similarities have you found about the images of the past?</li> </ol> <p>Marriage</p>
3	<p>? Image (3): Descriptions</p> <p>Activity1-6</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Make a collage.</li> <li>2. Write about your personal reflections of the exchange process.</li> <li>3. What did you share with your Taiwanese partner?</li> <li>4. What did your Taiwanese partner share with you?</li> <li>5. What have you learned from this process?</li> <li>6. What differences and similarities have you found about the images of the past?</li> </ol> <p>Weddings</p>
4	<p>Present</p> <p>Find three images to represent yourself in the present. Each picture needs to have descriptions of 100 words.</p> <p>? Image (1): Descriptions</p> <p>? Image (2): Descriptions</p> <p>Visiting a Shrine</p>
5	<p>? Image (3): Descriptions</p> <p>Activity1-6</p> <p>Visiting a Temple</p>
6	<p>Future</p> <p>Find three images to represent yourself in the future. Each picture needs to have descriptions of 100 words.</p> <p>? Image (1): Descriptions</p> <p>? Image (2): Descriptions</p> <p>The Family Register and Resident Card systems</p> <p>e-learning 小テスト1回目</p>
7	<p>? Image (3): Descriptions</p> <p>Activity1-6</p> <p>Giving Lucky Names to Babies</p>
8	Working collaboratively on final project
9	Working collaboratively on final project
10	Final Project Presentation
11	The Japanese School System
12	<p>Welfare</p> <p>e-learning 小テスト2回目</p>
13	Summer and Winter Gift-giving
14	Speech practice
15	Speech Test

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005026	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2M4) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2M4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan fsinet.or.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	音声言語及び文字言語による基礎的英語運用能力を高めます。より具体的には、日常の事柄や国際社会での出来事に関して、スピーキング又はライティング活動により意見を表現できるようにします。またその前提として、リスニング力とリーディング力にかかわる基礎的スキルを身につけます。		
授業到達目標/Goal	論理的な会話を聞き取り、理解できること。そのうえで、自分の意見を言えること。相手を説得するために論を組み立て、自分の力の範囲内で、できるだけ効果的に言え、書けること。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式。 基本的には2人、あるいは4人で組んで、自分の意見を言う場数を踏みませ。言った後は文で書いてみます。		
授業内容/Class outline/Con	テキストの各ユニットは、それぞれのテーマについて複数の人物が意見を述べ合っている長めの会話 Dialogue を中心に構成されています。Dialogue を聞き、発音練習してから、Comprehension でいくつかの設問に答えて内容が理解できているかをチェックし、Dictation では内容の要約文の空白箇所を聞き取って書きます。Discussion はこの内容に関わる議論を周りの人とし、What's your opinion? では、応用として新たに出されたテーマについて短く文を書いてから、意見を言います。これらの活動のまとめとして、Write a paragraph では、文を書きます。さらに Start a conversation や Role-play を利用して、さらにスキルを磨きます。これらテキストの設問を適宜利用しながら、15回の授業の初めの5回はペアでの意見交換を中心に、6回目からは4人でのグループに移行し、最終的には、あるテーマに関するデバートに挑戦します。各授業の最後で、その日の活動の成果を英文で提出します。  自分で考えてみる習慣をつけつつ、それを説得的に表現できよう練習します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	まず言ってみる		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Reflections: Talking about Things That Matter, NAN'UN-DO, CD付き, 1700円+税 第1回目の授業の初めに、教室でテキストを購入します。代金を忘れずに。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験約30%、授業での毎回提出物と積極的な参加等30%、課外学習のe-learning 40%(3 Step CALLとPowerWordsを内容とする2回の小テスト、各30分程度)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則です。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る 社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシス広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシス広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095 - 819 - 2006 (FAX) 095 - 819 - 2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	毎週で英語で、授業での活動の一部を提出してもらいます。これは大変ですが、先輩方も頑張ってきましたし、好評でもありました。予習して授業に臨むことが原則です。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	Unit 1 What kind of person do you respect?
第2回	Unit 2 Are you ready for your first job interview?
第3回	Unit 3 Do you exercise?
第4回	Unit 4 Are you afraid of the future?
第5回	Unit 5 What will happen to the global economy?
第6回	第1回 e-learning 小テスト(30分程度) Unit 6 Have you ever been guilty of telling a white lie?
第7回	Unit 7 Can you eat sushi?
第8回	Unit 8 Hobby, habit, or addiction?
第9回	Unit 9 Can money buy happiness?
第10回	Unit 10 Is it positive or negative peer pressure?
第11回	Unit 11 Do you vote?
第12回	第2回e-learning 小テスト(30分程度) Unit 12 Are you a difficult or an easy person to get along with?
第13回	Unit 13 Can you live without your cellphone?
第14回	Unit 14 What is the most effective way to study?
第15回	Unit 15 Is one gender superior to the other?
第16回	期末試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005027	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2M5) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2M5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hamasaki_wesleyan.ac.jp 欠席報告はメールではなく、後日届けを提出してください。(メールを送信する際は @ を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	単位に関するお問い合わせは、事務を通して行ってください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 時間帯は講義にてお知らせいたします。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語でコミュニケーションを成立させるための様々なスキルを考え、これを実践します。今それぞれが持てる英語力で、最大限のコミュニケーション能力を習得出来るようにします。頭で英文を思い描くために、核となるイメージを養っていきます。また、Group Workを通して、コミュニケーションも豊かにとれるよう積極性を持てるようにします。		
授業到達目標/Goal	簡単な日常英会話を躊躇なく運用出来るようにします。		
授業方法 (学習指導法) /Method	理解ある同じ受講生とのコミュニケーションは、プレッシャーを軽減する利点があります。受講生同士ペアやグループを組み、その落ち着いた状況で教科書の会話例をもとにテーマに沿って会話を発展させていきます。		
授業内容/Class outline/Con	Text内の、各UnitにはTopicが設けられて基本的なConversationが成されています。そのTopicとConversationを基礎に各自、各グループで考えられるSituationを想定して、Conversationを展開して行きます。日本人に独特な、発音を出来るだけNativeに近いものに修正し、これまで学んできた英語をPracticalなものになるような授業にいたします。 下記には理想的な進行を計画として立てておりますが、クラスの能力によっては進行を遅くする場合も想定されます。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	脱受験英語 イメージからの英語表現へ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Let's Make a Skit Presentation (英宝社) 各自持っている参考書、辞書(英和、和英) この授業では、辞書はかなり重要です。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Positive Class Attendance and Participation: 15% (講義中の睡眠、携帯操作等マイナス態度) 課外学習のe-learning小テスト40% (3 Step・PowerWords) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Mid-Term Examination 15% Final Examination 30%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為は大人としてのモラルをもって自重してください。(スマートフォンの操作等) 無断遅刻・欠席回数1/3以上はClass Attendance and Participationを0%と致します。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	中間、期末テストはGroup Workになり、Group内でのコミュニケーションも非常に重要になります。無断欠席、遅刻などは他の受講者にも非常に迷惑をかけることになるので、必ず責任ある態度で講義に望んでください。特に再履修の学生は、この点をよく考えてから決断してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction
第2回	Unit 1 言語機能別英会話(1) Group Making
第3回	Unit 2,3 言語機能別英会話(2), 主語として便利なwe, you, they Mid-Term Examinationへ向けてTopicを決定
第4回	Unit4,5 疑問文のパターン(1),(2)
第5回	Unit 6,7 助動詞を使った文(1),(2)
第6回	Preparation for the Mid-Term Examination 調査した表現・これまでの授業で学んだ文法の確認 5月16日 e-learning 小テスト1回目(30分程度)
第7回	Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work) 5月23日
第8回	Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work) Mid-Term Examinationの反省点と修正点の分析 5月30日
第9回	Unit 8 名詞節を使った文(1) Group Making Topicの決定 Final Examinationに向けてGroupとしての取り決め(反省点をいかして)
第10回	Unit 9 名詞節を使った文(2) Final Examinationに向けてTopicの最終決定期限
第11回	Unit 10,11,12 完了形の文、進行形、受動態の文、比較や程度を表す文
第12回	Unit 10,11,12 完了形の文、進行形、受動態の文、比較や程度を表す文 6月27日 e-learning 小テスト(30分程度)
第13回	Unit 13,14,15 意識して動詞のパターンを話そう!
第14回	Unit 13,14,15 意識して動詞のパターンを話そう! Mid-Term Examを省みて修正した事項を最終確認
第15回	Final Examination, Group Presentation 7月25日
第16回	Final Examination, Group Presentation 8月1日

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005028	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2M6) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後 (12:00~ / 授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語) - 必要最低限の英語 (及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることが出来るリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法 (学習指導法) /Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性 (音法) について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事 (ニュース) 等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性 (音法) の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座 (ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、課外学習のe-Learning小テスト40% (3 Step、Power Words) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動 (積極的かつ自発的な発言等) が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	e-learning小テスト(1回目)、連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+t/と/n/+d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	On an Airplane(1)
第12回	e-learning小テスト(2回目)、On an Airplane(2)
第13回	At an Airport(1)、洋楽を利用したリスニング
第14回	At an Airport(1)、洋楽を利用したリスニング
第15回	Taking a Taxi、洋楽を利用したリスニング、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005029	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2P1) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Object Student	2P1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yandi_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤控え室		
担当教員TEL/Tel	095-813-5500 (長崎県立大学 代表)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 1, 2時限目休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	多様なトピックをカバーする英文テキストやその学習リソースを用いて、Common European Frame of References of Languages (CEFR) B1レベルの英語運用能力のトレーニングをおこなう。		
授業到達目標/Goal	CEFR B1レベルの英語運用能力(特に英文テキスト読解、リスニング力)の習熟をはかる。		
授業方法(学習指導法)/Method	Reading:教材テキスト、プリント教材を用いた多読(Shadowing含む)指導 / Listening:教材テキストのリスニングQuiz / Speaking:英文テキストの音読 / Writing: B1レベルの語彙・文法演習を兼ねる。		
授業内容/Class outline/Con	教材テキスト、配布プリント(教材音声スクリプト等)、Unlock Onlineコンテンツを用いたクラス活動をおこなう。自律学習Unlock Onlineコンテンツの学習成果を、授業中に確認する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	教材添付のコードを用いて、オンラインサイト(Unlock Online Workbooks)に登録し、自律学習すること		
キーワード/Key word	CEFR B1		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Ostrowska, S(2014) Unlock Listening & Speaking Skills 3 (CUP)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	40% e-learning小テスト(3step CALL System, Power Words) 60% クラス教材(中間&期末試験あり)		
受講要件(履修条件)/Requirements	大学指定の学生、履修前に受講が認められた学生のみ履修可能。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	www.cambridge.org/unlock		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回のクラスでは、紙版、電子辞書、スマートフォンアプリの英々辞典、英和辞典(詳細、初回)が利用可能。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	Orientation (CEFR B1とは、教材の利用法)		
2回目	Unit 1 Animals		
3回目	Unit 2 Customs and traditions		
4回目	Unit 3 History		
5回目	Unit 4 Transportation		
6回目	Unit 5 Environment e-learning小テスト1回目		
7回目	Midterm Summary (Midterm Quiz)		
8回目	Unit 6 health and fitness		
9回目	Unit 7 Discovery and invention		

10回目	Unit 8 Fashion
11回目	Unit 9 Economics
12回目	Unit 10 The brain e-learning小テスト2回目
13回目	Extra materials 1
14回目	Extra materials 2
15回目	Summary of the study

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005030	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2P2) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00 ~ (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語) - 必要最低限の英語(及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることが出来るリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法 (学習指導法) /Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、課外学習のe-Learning小テスト40%(3 Step、Power Words)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	e-learning小テスト(1回目)、連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+t/と/n/+d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	On an Airplane(1)
第12回	e-learning小テスト(2回目)、On an Airplane(2)
第13回	At an Airport(1)、洋楽を利用したリスニング
第14回	At an Airport(2)、洋楽を利用したリスニング
第15回	Taking a Taxi、洋楽を利用したリスニング
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005031	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T1) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus			
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo_hotmail.co.jp のメールで受け付けます。(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜 12:50 ~ 14:20		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は英語を知識として終わらせるのではなく、活用できるスキルとして身につけていく授業です。各課のテーマに関連するKey word, key phraseを学習し、実際にそれらを活用した会話表現やプレゼンテーションをしていきます。		
授業到達目標/Goal	1. 学んだテーマについて、意義を理解することができる。 2. テーマについて具体例をあげて自身の意見を伝えることができる。 3. テーマについて説明することができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	この授業は座学で基盤的な知識を学び、実践でその知識を活用していきます。座学部分ではテーマに合わせてKey word, key phrase、英文法について学び、実践ではペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを通して、自身の考えを述べてもらいますので主体的な参加を求めます。		
授業内容/Class outline/Con	全回、前半では、あるテーマに基づいた英文を読み、関連するKey word、key phrase、の学習をします。また、その学習したkey word、key phraseを自身の言葉として伝える際に必要となる文法にも触れていきます。後半では、前半で学習したものを実践するため、ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを行い、self-expressionしてもらいます。第16回目は定期試験を実施します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回、テーマに沿って自身の意見を述べてもらいますので、予習の段階でテーマについて事前に調べておくこと。また、毎回、発表の場を設けますので、自身の意見を述べる表現方法の復習をしっかりしておいてください。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Journeys (朝日出版社) ¥2,000 + 税		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	英文理解問題 (14回 × 1 = 14%) + ペア・グループワーク・プレゼンテーション (14回 × 2点 = 28%) + 定期試験 (18%) + e-learning小テスト(3 step・Power Words) (40%) = 合計100%のうち60%以上で合格とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	Introduction		
2回目	Communication		
3回目	Friendship		
4回目	Health		
5回目	Environment		
6回目	e-learning 小テスト1回目 Fashion		

7回目	Food
8回目	Science & Technology
9回目	Study Abroad
10回目	College Life in the U.S.
11回目	Steve Jobs
12回目	e-learning 小テスト2回目 Volunteer Work
13回目	Internship
14回目	Travel
15回目	Culture
16回目	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005032	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T10) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	工学部 (2T10)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hijimasako yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水2		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります。		
授業到達目標/Goal	英語の音の基本を学び、シャドウイング演習を行い、スムーズな英語のコミュニケーションが行える力をつけます。 自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。ペアワークとグループワークをしますので、欠席しないようにしてください。インターネットを使って活動を行い、テキストの音読やパートナーとの読み合わせを行います。		
授業内容/Class outline/Con	<p>テキストとワークブックを使用して、リーディング、スピーキングの練習をします。インターネットの動画を利用して、モチベーションを高めます。大学のe-learning 教材を活用し、基礎力を養成します。</p> <p>授業内容-1回 オリエンテーション、教科書Unit 1、e-learning          授業内容-2回 教科書 Unit 2、Workbook 1、e-learning          授業内容-3回 教科書 Unit 3、Workbook 2、e-learning          授業内容-4回 教科書 Unit 4、Workbook 3、e-learning          授業内容-5回 教科書 Unit 5、Workbook 4、e-learning          授業内容-6回 教科書 Unit 6、Workbook 5、e-learning、e-learning小テスト1回目          授業内容-7回 教科書 Unit 7、Workbook 6、e-learning          授業内容-8回 教科書 Unit 8、Workbook 6、e-learning          授業内容-9回 教科書 Unit 9、Workbook 7、e-learning          授業内容-10回 教科書 Unit 10、Workbook 7、e-learning          授業内容-11回 教科書 Unit 11、Workbook 8、e-learning          授業内容-12回 教科書 Unit 12、Workbook 8、e-learning、e-learning小テスト1回目          授業内容-13回 教科書 Unit 13、Workbook 9、e-learning          授業内容-14回 教科書 Unit 14、Workbook 9、e-learning          授業内容-15回 教科書 Unit 15、Workbook 10、e-learning          授業内容-16回 期末試験</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning を行う、ワークブックのスピーチを完成させる		
キーワード/Key word	リピーティング、シャドウイング、音読		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	音の基本とシャドウイング演習、開文社、Openvoice Workbook Intermediate, Kaigai Connection		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、e-learning 40% (3step Call System, Power Words), 授業中の発表10%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先          (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948          (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	シャイネスを打ち破り、元気に英語の勉強をしましょう

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005033	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T2) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan fsinet.or.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	音声言語及び文字言語による基礎的英語運用能力を高めます。より具体的には、日常の事柄や国際社会での出来事に関して、スピーキング又はライティング活動により意見を表現できるようにします。またその前提として、リスニング力とリーディング力にかかわる基礎的スキルを身につけます。		
授業到達目標/Goal	論理的な会話を聞き取り、理解できること。そのうえで、自分の意見を言えること。相手を説得するために論を組み立て、自分の力の範囲内で、できるだけ効果的に言え、書けること。		
授業方法 (学習指導法) / Method	演習形式。 基本的には2人、あるいは4人で組んで、自分の意見を言う場数を踏みます。言った後は文で書いてみます。		
授業内容/Class outline/Con	テキストの各ユニットは、それぞれのテーマについて複数の人物が意見を述べ合っている長めの会話 Dialogue を中心に構成されています。Dialogue を聞き、発音練習してから、Comprehension でいくつかの設問に答えて内容の理解をチェックし、Dictation では内容の要約文の空白箇所を聞き取って書きます。Discussion はこの内容に関わる議論を周りの人とし、What's your opinion? では、出されたテーマについて短文を書いてから、意見を言い、これらの活動のまとめとして、Write a paragraph では、文を書きます。Start a conversation や Role-play を利用して、さらにスキルを磨きます。テキストのこの構成を適宜利用しながら、初めの5回はペアでの意見交換を中心に、その後の5回は4人のグループでの意見交換に中心を移行し、そして最後は4人によるディベートを行うことを目標に活動します。毎回活動の報告を英語で書いて提出します。  自分で考えてみる習慣をつつつ、それを説得的に表現できよう練習します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	まず言ってみる		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Reflections: Talking about Things That Matter, NAN'UN-DO, CD付き, 1700円+税 第1回目の授業の初めに、教室でテキストを購入します。代金を忘れないように。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験約30%、毎回の授業での、提出物と積極的な参加等約30%、課外学習のe-learning 40% (3 Step CALLとPowerWordsを内容とする2回の小テスト、各30分程度)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	全回出席が原則です。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る 社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシス広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095 - 819 - 2006 (FAX) 095 - 819 - 2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	毎回英文を提出してもらいます。これは大変ですが、先輩方も頑張ってきましたし、好評でもありました。予習して授業に臨むことが原則です。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Unit 1 What kind of person do you respect?		

第2回	Unit 2 Are you ready for your first job interview?
第3回	Unit 3 Do you exercise?
第4回	Unit 4 Are you afraid of the future?
第5回	Unit 5 What will happen to the global economy?
第6回	第1回 e-learning 小テスト(30分程度) Unit 6 Have you ever been guilty of telling a white lie?
第7回	Unit 7 Can you eat sushi?
第8回	Unit 8 Hobby, habit, or addiction?
第9回	Unit 9 Can money buy happiness?
第10回	Unit 10 Is it positive or negative peer pressure?
第11回	Unit 11 Do you vote?
第12回	第2回 e-learning 小テスト(30分程度) Unit 12 Are you a difficult or an easy person to get along with?
第13回	Unit 13 Can you live without your cellphone?
第14回	Unit 14 What is the most effective way to study?
第15回	Unit 15 Is one gender superior to the other?
第16回	期末試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005034	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T3) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷川 晋一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷川 晋一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	谷川 晋一		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shintanigawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	総合研究棟10階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時の口頭による申請とメールでの申請によって対応		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	毎回、学生生活にとって身近な話題を取り上げ、eメールを使った読解・作文と会話文を使った聴き取り・発話を行う。基礎的な語彙や文法に重点を置いた読解・作文を行いつつ、音声規則やシャドーイング等を取り入れた聴き取りや発話を行うことで、コミュニケーション活動に活用できる英語力を向上させる。最終的には、適確な文章構成に沿った作文や発表を行う。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な音声規則を理解し、効率的にリスニングとスピーキングができるようになる。</li> <li>・学生生活に活用できる基礎的な語彙や表現を着実に身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。</li> <li>・指定されたテーマに沿って自分の意見を簡潔に述べるような作文や発表ができるようになる。</li> </ul>		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の冒頭では、予習・復習を兼ねた小テストや課題を実施する。</li> <li>・配布プリントを用いて、コミュニケーションに重点を置いた学習を行う。</li> <li>・授業の最後では、作文の作成やグループ・ペアでの発表を行う。</li> </ul>		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書等は使用せず、プリント等の配布資料を用いる。参考書等は、講義中に提示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-learning: 40% 小テスト・課題: 40% 中間・期末課題: 20%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	原則として、全回出席をしなければ単位は成立しない。また、この授業では、予習・復習を前提とした出席と小テスト・課題を中心に、成績評価を行う。出席したとしても、予習・復習が不十分である場合には、必然的に、点数が低くなるため、その点に留意して、積極的に授業に取り組むこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	10月3日: オリエンテーション & 準備学習		
第2回	10月10日: 配布資料1		
第3回	10月17日: 配布資料2		
第4回	10月24日: 配布資料3		
第5回	10月31日: 配布資料4		
第6回	11月7日: e-learningテスト(1) & 配布資料5		

第7回	11月14日：中間課題
第8回	11月21日：配布資料6
第9回	11月28日：配布資料7
第10回	12月5日：配布資料8
第11回	12月12日：配布資料9
第12回	12月19日：e-learningテスト (2) & 配布資料10
第13回	1月9日：配布資料11
第14回	1月16日：配布資料12
第15回	1月23日：期末課題

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005035	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T4) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university@gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 12:10 ~ 12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。今までインプットした単語や文法力などを存分に生かしアウトプットすることにより、英語を使ったコミュニケーションを行う練習をします。		
授業到達目標/Goal	1・英語を使ってコミュニケーションをすることに慣れる 2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させる 3・グループワークを通し他のグループメンバーといかに協力しプレゼンテーションを成功の為に自ら考え実行に移す		
授業方法 (学習指導法) /Method	主にペア・グループ活動を行います。授業毎にペアを替え、多くのクラスメイトと英語でのコミュニケーションを体験してもらいます。また、プレゼンテーションを通し人前で話すことを経験し他の人と共に活動する大変さ、重要さ、楽しさを感じてもらいたいと思っています。		
授業内容/Class outline/Con	Speakingの時間は基本となる文法を復習しながら主にその文法を用いてSpeakingの練習をします。またランダムにトピックを出し、英会話の練習をします。間違えを恐れることなく英語を発話できるよう、楽しく実践練習します。 Reading, Listeningを通して単語量や知識を増やします。また、音読の練習を行い発音の練習も行います。 Group activityの時間はプレゼンに向けたグループ活動を行います。事前に原稿を作成しますので、ライティングの練習と捉え、一人およそ1分ぐらいの量の英作文を作ります。 16回目には定期試験を実施します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	英語環境を作るために英語で英語やドラマの鑑賞を積極的に行ってください。また、授業時に行う音読の練習を授業後にも行ってください。プレゼンテーション用の原稿に関しても期日までに作成終了するよう授業時間で終われない分は事後学習になります。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業時にプリントを配布します		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト(10回実施) 10% / プレゼンテーショングループ評価 20% / 定期試験 20% / レポート提出 10% / e-learning 小テスト 40%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会に出た後に英語を実際に使えるようにこの授業を通し練習をします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力をコミュニケーションをとりながら実際に使ってください。英語でのコミュニケーションに慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション / Speaking activity Group activity (グループ作成 + プレゼンターマ決め)		
第2回	小テスト / Reading activity / Speaking activity Group activity (アウトライン + 担当決め)		

第3回	小テスト / Listening activity / Speaking activity Group activity (プレゼン準備)
第4回	小テスト / Reading activity / Speaking activity Group activity (プレゼン準備)
第5回	小テスト / Listening activity / Speaking activity Group activity (英文完成)
第6回	小テスト / Reading activity / Speaking activity Group activity (proofread) e-learning小テスト1回目
第7回	Speaking activity Group activity (プレゼンリハーサル及び最終確認)
第8回	第1回 プレゼンテーション
第9回	小テスト Listening / Speaking activity Group activity (プレゼン内容決め)
第10回	小テスト Reading / Speaking activity Group activity (アウトライン+担当決め)
第11回	小テスト Listening / Speaking activity Group activity (プレゼン準備)
第12回	小テスト Reading / Speaking activity Group activity (英文完成) e-learning小テスト2回目
第13回	Speaking activity Group activity (proofread)
第14回	小テスト Reading / Speaking activity Group activity (プレゼンリハーサル及び最終確認)
第15回	第2回 プレゼンテーション
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005036	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T5) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Object Student	工学部(2T5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp 注意:メールのマナー(ビジネスレター等)が守られている場合のみ、返信し、対応する。(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel	095-840-2000(長崎外国語大学 内線334)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語によるコミュニケーションを円滑に行うのに必要とされる口語英語の理解能力の基礎を作る。		
授業到達目標/Goal	本授業の到達目標は、1)口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2)リスニングに対応できる語彙数を増やす、3)英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4)英語のミニマルペアーを正しく発音できる、5)英語の連続音を正しく理解し、聞き取ることができる、である。		
授業方法(学習指導法)/Method	様々なタスクを用い、リスニングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己のリスニング能力を客観的に把握・理解できる場が用意され、同時に、リスニングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。なお、学習状況(理解度、進度)に応じて、シラバスの内容を変更することがある。		
授業内容/Class outline/Con	毎回の授業では、概して、3つのタスクに取り組み。タスク終了後、セルフチェックやペアチェックを通し、自己点検を行い、それらを踏まえ、担当者の指導を受ける。その後、自分の問題点を文章化し、学期末のレポートの材料とする。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	基本的に毎回課題が出される。授業中に導入部分(単語の発音等)を実際に行い、残りが課題となる。また、ネット上の音楽を聴いて、新しい単語や表現等を整理し、まとめる課題も出される。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	基本的に、E-Learning 40%・課題20%・期末試験40%で総合的に評価するが、授業の進度等により課題20%・期末試験40%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	英語学習の意義を再度考え、課題に意欲的に取り組んで欲しい。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	授業方針の説明・英語力診断テスト		
2回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理1		
3回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理2		
4回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理3		
5回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ1		
6回	e-learning小テスト1回目 アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ2		

7回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ3
8回	第2回目から第7回目の授業のまとめ、フィードバック
9回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解1
10回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解2
11回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解3
12回	e-learning2回目 アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解1
13回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解2
14回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解3
15回	授業全体のまとめ、フィードバック
16回	学期末試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005037	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T6) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 12:10~12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。今までインプットした単語や文法力などを存分に生かしアウトプットすることにより、英語を使ったコミュニケーションを行う練習をします。		
授業到達目標/Goal	1・英語を使ってコミュニケーションをすることに慣れる 2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させる 3・グループワークを通し他のグループメンバーといかに協力しプレゼンテーションを成功の為に自ら考え実行に移す		
授業方法(学習指導法)/Method	主にペア・グループ活動を行います。授業毎にペアを替え、多くのクラスメイトと英語でのコミュニケーションを体験してもらいます。また、プレゼンテーションを通し人前で話すことを経験し他の人と共に活動する大変さ、重要さ、楽しさを感じてもらいたいと思っています。		
授業内容/Class outline/Con	Speakingの時間は基本となる文法を復習しながら主にその文法を用いてSpeakingの練習をします。またランダムにトピックを出し、英会話の練習をします。間違えを恐れることなく英語を発話できるよう、楽しく実践練習します。 Reading, Listeningを通して単語量や知識を増やします。また、音読の練習を行い発音の練習も行います。 Group activityの時間はプレゼンに向けたグループ活動を行います。事前に原稿を作成しますので、ライティングの練習と捉え、一人およそ1分ぐらいの量の英作文を作ります。 16回目には定期試験を実施します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	英語環境を作るために英語で英語やドラマの鑑賞を積極的に行ってください。また、授業時に行う音読の練習を授業後にも行ってください。プレゼンテーション用の原稿に関しても期日までに作成終了するよう授業時間で終われない分は事後学習になります。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業時にプリントを配布します		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト(10回実施) 10% / プレゼンテーショングループ評価 20% / 定期試験 20% / レポート提出 10% / e-learning 小テスト 40%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会に出た後に英語を実際に使えるようにこの授業を通し練習をします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力をコミュニケーションをとりながら実際に使ってください。英語でのコミュニケーションに慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回 4/10	オリエンテーション / Speaking activity Group activity(グループ作成+プレゼンテーマ決め)		
第2回 4/17	小テスト / Listening activity / Speaking activity Group activity(アウトライン+担当決め)		

第3回 4/24	小テスト / Listening activity / Speaking activity Group activity (プレゼン内容準備)
第4回 5/1	小テスト / Listening activity / Speaking activity Group activity (プレゼン内容準備)
第5回 5/8	小テスト / Listening activity / Speaking activity Group activity (英文作成完了)
第6回 5/15	e-learning 小テスト1回目 / Speaking activity Group activity (proofread)
第7回 5/22	小テスト / Listening activity / Speaking activity Group activity (プレゼンリハーサル及び最終確認)
第8回 5/29	第1回 プレゼンテーション
第9回 6/5	小テスト / Listening activity / Speaking activity Group activity (プレゼン内容決め)
第10回 6/12	小テスト / Listening activity / Speaking activity Group activity (アウトライン+担当決め)
第11回 6/19	小テスト Listening activity / Speaking activity Group activity (プレゼン内容準備)
第12回 6/26	e-learning 小テスト2回目 / Speaking activity Group activity (英文完成)
第13回 7/3	小テスト Listening activity / Speaking activity Group activity (proofread)
第14回 7/10	小テスト / Listening activity / Speaking activity Group activity (リハーサル及び最終確認)
第15回 7/24	第2回 プレゼンテーション
第16回 7/31	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005038	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T7) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	工学部2年生 (2T7)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	midwinter.jk@gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	09043429702		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日12:00 ~ 12:30		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語コミュニケーション能力のうち、特にリスニング力、スピーキング力、リーディング力の向上を目指す授業です。		
授業到達目標 / Goal	(1) 日常レベルの会話、およびナレーションを、ややゆっくりとしたスピードであれば8割以上理解できるようになる。 (2) そのために必要な基礎的な語彙力、音、意味、語法のすべてにおいて自由に使えるようになる。 (3) リスニングを通して身につけた表現を、実際にスピーキングで使えるようになる。特に、海外旅行や留学を想定した場面で、英語で基本的な応答ができるようになる。 以上を目標とします。		
授業方法 (学習指導法) / Method	音声教材を使って、リスニングとスピーキングの練習をおこないます。スピーキングについては、基本的にペアワークを中心とします。		
授業内容 / Class outline / Con	異文化について学びつつ、海外旅行や留学に役立つよう、リスニング、スピーキング、リーディング能力の向上を目指すアクティビティをおこないます。授業の冒頭に、前の週の復習テストとその回の予習テストを毎回実施します。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前: ポキャブラリー (音、意味、語法、スペリング) の確認とリスニング 事後: 特定の状況でよく使う表現の復習 (音声、意味、語法、スペリング)		
キーワード / Key word	ペアワーク、数量表現		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Simon Cookson / Chihiro Tajima, Communicate Abroad: Essential English for Travel and Study (Cengage Learning, 2016)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	e-Learning 小テスト: 40% ポキャブラリー予習小テストと役立つ表現復習小テスト: 20% Units 1-6復習テストとUnits 7-12復習テスト: 20% 定期試験: 20%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特にありません。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	教材音声ダウンロードサイト <a href="http://cengage.jp/elt/ListeningSpeaking">http://cengage.jp/elt/ListeningSpeaking</a>		
学生へのメッセージ / Message for students	1回目授業前に必ず上記のサイトから音声をダウンロードして、各回の予習として音声を2回以上聴いて授業に備えてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
April 10	Orientation		
April 17	Unit 1: My Suitcase Is Overweight (pp. 10-17) Vocabulary Preview Quiz for Unit 1		
April 24	Unit 2: I'm Suffering from Jet Lag (pp. 18-25) Useful Expression Review Quiz for Unit 1 Vocabulary Preview Quiz for Unit 2		

May 1	Unit 3: Each Host Family Is Different (pp. 26-33) Useful Expression Review Quiz for Unit 2 Vocabulary Preview Quiz for Unit 3
May 8	Unit 4: I'm Experiencing Culture Shock (pp. 34-41) Useful Expression Review Quiz for Unit 3 Vocabulary Preview Quiz for Unit 4
May 15	e-Learning Test 1 (approximately 30 mins.) (成績評価の20%) Unit 5: My Dormitory Is too Noisy (pp. 42-49) Useful Expression Review Quiz for Unit 4 Vocabulary Preview Quiz for Unit 5
May 22	Unit 6: How Can I Make Friends? Useful Expression Review Quiz for Unit 5 Vocabulary Preview Quiz for Unit 6
May 29	Useful Expression Review Quiz for Unit 6 Units 1-6 Review Test (成績評価の10%)
June 5	Unit 7: What Should I Talk About? Vocabulary Preview Quiz for Unit 7
June 12	Unit 8: I Feel Homesick Useful Expression Review Quiz for Unit 7 Vocabulary Preview Quiz for Unit 8
June 19	Unit 9: How Do I Order Food? Useful Expression Review Quiz for Unit 8 Vocabulary Preview Quiz for Unit 9
June 26	e-Learning Test 2 (approximately 30 mins.) (成績評価の20%) Unit 10: I Lost My Passport Useful Expression Review Quiz for Unit 9 Vocabulary Preview Quiz for Unit 10
July 3	Unit 11: I Need to Go to Hospital Useful Expression Review Quiz for Unit 10 Vocabulary Preview Quiz for Unit 11
July 10	Unit 12: I Don't Want to Leave Useful Expression Review Quiz for Unit 11 Vocabulary Preview Quiz for Unit 12
July 24	Useful Expression Review Quiz for Unit 12 Units 7-12 Review Test (成績評価の10%)
July 31	定期試験 (成績評価の20%)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005039	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T8) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Object Student	2T8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn hotmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本授業では、大学や社会で必要とされる英会話の基礎能力の習得を目指します。学内外で留学生と英語でコミュニケーションを取る機会がある学生さんや、短長期の留学を考えている学生さんがいらっしゃるかもしれません。また、これからの社会は、職場でもまた家庭でも英語が必要とされる機会がどんどん増えることでしょう。本授業を通して、なかなか機会のない英語コミュニケーション活動に慣れ親しみ、これまでの知識としての英語から実際に「使える」コミュニケーション能力を1つでも多く身につけることを目指します。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 与えられた写真(あるいは絵)を見て的確に英語で表現することができる。</li> <li>(2) 会話を聞いて要約できる。</li> <li>(3) その会話の和訳を英訳できる。</li> <li>(4) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができる。</li> <li>(5) 洋画を英語音声、英語字幕で視聴し、内容のある程度理解することができる。</li> <li>(6) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等をネイティブとほぼ同じように音読できる。</li> </ul>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、ほぼ毎レッスン小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすために authentic な教材(配布物)、洋画を使用し(DVD視聴)、Readers' theater(朗読劇)などの活動を通して日本人学習者の苦手なイントネーション、単語のつなぎ方、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めて行きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 小テスト</li> <li>(2) テキストを使用した演習(グループワーク、Readers' theater等の活動を含む)</li> <li>(3) 3分間(フリーorトピック)トーク</li> <li>(4) 洋画視聴(5分程度)</li> </ul> <p>提出されたグループワークは、添削評価して返却します。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>第1回の授業で扱う内容や学習方法、評価方法などを説明します。</p> <p>授業では、眠ったボキャブラリー&amp;表現を「使える」英語へと変えるために、受講生には、ペアワーク、グループワークを通して出来る限りスピーキングの機会を設けます。スピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、補助教材も適宜使用しReaders' theater(朗読劇)などの活動を通して、イントネーション、間の取り方などに焦点をあてて練習していきます。また、スピーキングの弱点を克服するために、接続表現、学習した表現が適切に使われているか等確認しながら練習していきます。会話の練習を何度も繰り返すことにより、日本語と英語の発想の違いなどを体感してほしいと思います。テキスト付属のSelf-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また、本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価40%)。</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各自テキスト付属のSelf-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また、課外学習の e-learning に関しては第1回目の授業の際に説明します。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 2 Student's Book B with Self-study CD-ROM』 Cambridge University Press - ISBN:978-0521-12704-2を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。		

成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験20%、授業中の発表及び積極的な姿勢、小テスト、グループワーク、Readers' theater 40%、課外学習のe-learning 小テスト40%(3 Step Call System, Power Words)を総合的に判断します。
受講要件(履修条件)/Requirements	教科書、英語辞典(電子辞書も可)を毎回持参、また毎回授業に出席すること(時間厳守)。学習した内容は、きちんと復習すること!
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語が話せると世界(チャンス)が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回 4月10日	オリエンテーション、授業の進め方、Self-introduction、DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴)
第2回 4月17日	テキストShopping
第3回 4月24日	Shopping (G/W)
第4回 5月1日	Shopping
第5回 5月8日	Readers' theater e-learning復習他
第6回 5月15日	1回目e-learning小テスト(3step, Power words), Shopping
第7回 5月22日	In a restaurant
第8回 5月29日	In a restaurant (G/W)
第9回 6月5日	In a restaurant
第10回 6月12日	Readers' theater
第11回 6月19日	In a restaurant & Fun in the city e-learning 復習他
第12回 6月26日	2回目e-learning 小テスト(3step, Power words), Fun in the city
第13回 7月3日	Fun in the city (G/W)
第14回 7月10日	Fun in the city, Review
第15回 7月24日	Review
第16回 7月31日	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005040	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T9) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2T9)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月3 水3 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語でのコミュニケーション活動がスムーズにできるように、基礎的な英語の発音やリズム練習を行います。さらに、リスニングストラテジーに基づいたトレーニングを行い、いろいろな会話場面で十分コミュニケーション活動が行えるようにします。また、日本文化に関して、英語で説明できるような簡単なプレゼンの練習もを行い、自信を持って英語を発信できるようにします。		
授業到達目標/Goal	テキストの中の重要な英語の構文は、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化し、自然と発話できるレベルまでにします。英会話レベルを超えて、少し長いレベルの英語も発話できるようにします。また、基本的なリスニングストラテジーを身につけてもらい、簡単な英語ニュースやダイアログなら、内容の概要を聞き取れるようにします。また、簡単なプレゼンを、自信もって英語でできるようにします。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。家庭でテキスト付属のCDを利用して、リスニングの問題の解答を作成して、授業に臨んでください。授業では、CDを用いて解答の確認をし、それらの英文の発話練習を行います。また、それらの英文を利用して、ダイアログを作成したり、テキストの英文を参考にして、簡単な日本文化に関するプレゼンの練習をします。また、2回程度、プレゼンテーション用のスピーチ用の英文の原稿を書いてもらい、ペアやグループでの英語によるスピーチ練習をします。		
授業内容/Class outline/Con	e-learning 教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自の小テストを行います。  授業はテキストを用いて、CDを聞きながら、予習してきたリスニング問題の解答を行います。その後、話すための大切な英語構文を整理しながらCDを用いて、英語を繰り返す練習を行います。これは、リピーティング練習といい、英語の構文を内在化する(身につける)には効果的な練習方法です。この練習を20分程度行い、その後、ダイアログを作成したり、日本文化を語るための簡単な英文を作成したりします。 さらに、応用練習として、ペアやグループになってもらい、課題として作成したプレゼンテーション用の原稿を用いてのスピーチ練習を行います。もちろん、この原稿を書くための指導も行います。 なお、e-learning 教材を課題学習として、授業外に行ってもらいますが、授業中も30分程度、3 Step と Power Wordsの学習をしてもらい、その内容の指導や小テストも行います。 この授業に関しては、決して受身的な態度で参加しないでください。授業の効果を上げるためにも、学生は極力欠席を避け、積極的に授業に参加してください。毎回、課題がでますので、なによりも家庭学習をきちんとすることが大切です。学生の積極的な取り組みを期待します。真剣に授業に参加し、家庭学習もきちんとすれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	Repeating, Pair Work, Listening Strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): Let's Make a Skit Presentation! (英宝社) ¥1,800		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験40%、プレゼンペーパー10% 授業でのアクティビティ10% e-learning 40% で行います。 e-learning の内容に関しては、1回目の授業時に説明します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning 教材（3 Step やパワーワーズ）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション リピーティング練習体験 機能編：質問する、依頼する、確認する等 日本文化を語る 金沢 Power Words Level 5 Unit 1-5 3 Step New York Live,
第2回	リピーティング練習1 機能編：あやまる、感謝を表す、賛成する等 日本文化を語る 小笠原諸島 3 Step New York Live, Power Words Level 5 Unit 6-10
第3回	リピーティング練習2 主語をつかひこなす 日本文化を語る 長崎県 3 Step New York Live, Power Words Level 5 小テスト
第4回	リピーティング練習3 疑問文パターン練習(1) 日本文化を語る 入学式 3 Step New York Live, Power Words Level 5 Unit 11-15
第5回	リピーティング練習4 疑問文パターン練習(2) 日本文化を語る 焼酎 3 Step New York Live Power Words Level 5 Unit 16-20
第6回	リピーティング練習5 助動詞の気持ちをつかむ(1) 日本文化を語る 留学 Power Words Level 5 小テスト e-learning 小テスト 第1回目 3 Step New York Live
第7回	リピーティング練習6 助動詞の気持ちをつかむ(2) 日本文化を語る 漫画 スピーチ練習課題A作成指導 3 Step New York Live Power Words Level 5 Unit 21- 25
第8回	リピーティング練習7 名詞節が含まれる文(1) 日本文化を語る 祇園祭り スピーチ練習課題A提出 3 Step New York Live Power Words Level 5 Unit 26-30
第9回	リピーティング練習8 名詞節が含まれる文(2) 日本文化を語る 九州 スピーチ練習課題Aを用いたペア練習 3 Step New York Live Power Words Level 5 小テスト
第10回	リピーティング練習9 完了形の文 日本文化を語る 日本人のマナー スピーチ練習課題Aを用いたペア練習 3 Step New York Live Power Words Level 5 Unit 31-35
第11回	リピーティング練習10 進行形、受動態を含んだ文 日本文化を語る 野球 3 Step New York Live Power Words Level 5 Unit 36-40
第12回	リピーティング練習 比較表現 e-learning 小テスト 第2回目 日本文化を語る ラーメン Power Words Level 5テスト

第13回	リピーティング練習12 動詞のパターン練習 日本文化を語る 島津斉彬と集成館 スピーチ練習課題B作成指導 Power Words Level 5 Unit 41~45
第14回	リピーティング練習13 使役動詞のパターン 日本文化を語る 歌舞伎 スピーチ練習課題B提出 ペア練習 Power Words Level 5 Unit 46~50
第15回	リピーティング練習14 知覚動詞のパターンテキスト 日本文化を語る 自動車産業 スピーチ練習課題B ペア練習 Power Words Level 5 テスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005052	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E7) / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	FRITZ ROBINSON ENRIQUE / Fritz Robinson Enrique, 古村 由美子 / Yumiko Furumura, 丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	FRITZ ROBINSON ENRIQUE / Fritz Robinson Enrique		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	FRITZ ROBINSON ENRIQUE / Fritz Robinson Enrique		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	rob-fritz@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	経済学部の本館 5 0 3		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	Email me to make an appointment		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	This course will focus on using English music and English poems to improve students' skills of writing, reading, listening and speaking. Each week students will learn by using different music genres (i.e. pop, rock, electronic, soundtracks), music in film (i.e. Promotional Videos, movie scenes) or from English poems.		
授業到達目標 / Goal	Student goals are - Gain a wider range of knowledge of English music - Improve speaking and writing fluency - Be able to express thoughts and feeling better in English - Develop own opinions and ideas about music and poems		
授業方法 (学習指導法) / Method	Students will work in groups and pairs in every class. Students are expected to be active in every class = asking and answering questions with other members and the teacher.		
授業内容 / Class outline / Con	The syllabus will be given to students in the first class.		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	No textbook. The teacher will give handouts in every class.		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	Positive class participation: 30% Completing homework every week : 30%  Power words test: 20% 3 step test: 20%		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
10/05 1st period	Class 1. Introductions. The course will be introduced and students will introduced themselves to each other.		

10/12 1st period	Class 2. Poems. A poem will be used and students will discuss it. The purpose is to use the poem so that students can understand the main themes of the course (thinking and analyzing many different meanings and being creative).
10/19 1st period	Class 3. Metaphors and similes. Students will be introduced to metaphors and similes, then gradually become aware and understand how they are used in song lyrics and everyday English communication.
10/26 1st period	Class 4. Metaphors and similes (part 2). Students will be introduced to metaphors and similes, then gradually become aware and understand how they are used in song lyrics and everyday English communication.
11/02 1st period	Class 5. Music genres (part 1). Different kinds of contemporary music genres will be introduced. Students will do various activities to raise their awareness of new kinds of English music
11/09 1st period	Class 6. Power words test  Power words: level 6 (1st quiz unit 1- 20, 2nd quiz unit 21-50)
11/16 1st period	Class 7. Music genres (part 2). Different kinds of contemporary music genres will be introduced. Students will do various activities to raise their awareness of new kinds of English music
11/30 1st period	Class 8. Discussing music lyrics part 1
11/29 2st period	Class 9. Discussing music lyrics part 1
12/07 1st period	Class 10. Use of music in films part 1
12/14 1st period	Class 11. Use of music in films part 2
12/21 1st period	Class 12. 3 Step test.  3 step: 'People at work' (1st quiz unit 1-2, 2nd quiz unit 3-4)
01/04	Class 13. Analysing Promotional Videos (PVs) part 1
01/11	Class 14. Analysing Promotional Videos (PVs) part 2
01/25	Class 15. Analysing Promotional Videos (PVs) part 3
02/01	Class 16. Review. Students will review the course, think and discuss what they have developed.